

消防年報



三重県
菰野町消防本部

(平成28年版)

は じ め に

本書は、菰野町における消防情勢と、平成 27 年中における消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするため編集しました。

なお、統計資料は特に記載のあるものを除き、平成 27 年中をもって表しました。

平成 28 年 8 月

三重県 こものちょう 菰野町 消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要・位置図	1
菰野消防のあゆみ	2
歴代消防長	5
平成 27 年中の主な行事	6
消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌	7
消防予算	8
一般会計予算に占める消防費の割合	
消防費に対する人口・世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別・所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
外部研修等派遣状況	12
各種訓練実施状況	13
消防本部（署）庁舎の概要	
通信施設状況	14
現有消防車両	15
消防水利状況	
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構・団員数	22
年齢別及び階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員各種手当	
消防団員職業別構成表	24
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去 5 年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報・啓発活動状況	30

火 災

火災発生状況	31
過去 5 年間の火災発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出場状況	
出場区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34
絵で見る火災原因	36

救 急・救 助

救急事故発生状況	37
過去 5 年間の救急事故発生状況	
事故種別救急出場件数・搬送人員	38
現場到着所要時間別救急件数	
収容所要時間別救急搬送人員	
年齢区分別救急搬送人員	39
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出場件数	
地区別救急出場状況	40
月別救急出場状況	
曜日別救急出場状況	
年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員	41
事故種別・年齢区分別救急搬送人員	
事故種別・傷病程度別救急搬送人員	
事故種別・時間別救急出場件数	42
事故種別・応急処置件数	
事故種別・医療機関別救急搬送人員	43
救助出場状況	44
事故種別出場件数・救助人員	48
事故種別・救助出場人員	
事故種別・救助出場車両	

気 象

月別気象状況と火災件数	49
月別気温概況	50
月別降水量概況	
月別湿度概況	51
月別風速概況	
気象通報受信状況	52

消防情勢



火災発生時に活動が困難と予想される大規模な建築物に対して、効果的な消防活動計画を策定する事を目的に、事前に対象物の状況等の活動に必要な情報を把握する警防調査を実施しています。

警防調査
平成27年12月10日
於：和光純薬工業株式会社
三重菰野工場

菰野町の概要・位置図

菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯をもつ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

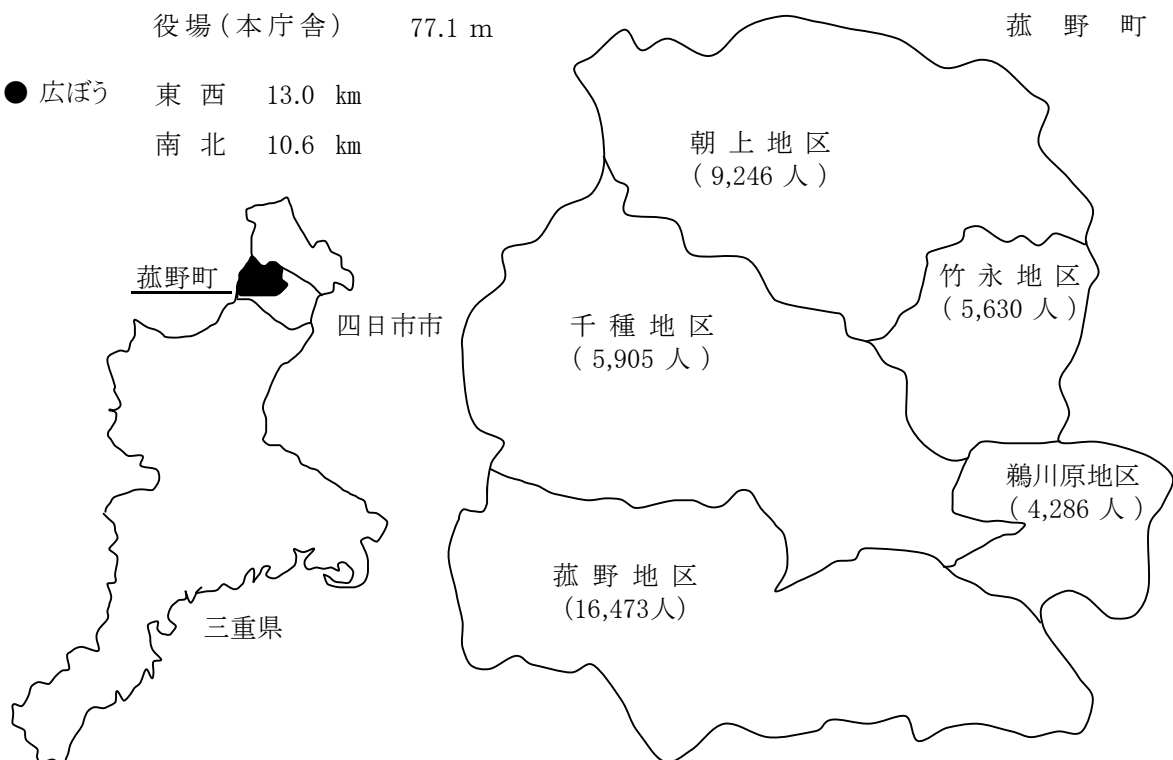
菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,540 人
東経 136° 30' 25" (平成28.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 15,828 世帯
(平成28.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野消防のあゆみ

昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工。
8. 24 日本消防協会より救急車（2 B型）の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始。（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成。（コミュニティ防災センターを併設）
2. 14 消防庁舎において試行業務開始。
- ※ 4. 1 菰野町消防本部・消防署発足。
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式。

昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車（C D - I 型）購入。
11. 19 普通貨物自動車購入。

昭和62年(1987)

2. 26 はしご車（30m級）購入。
10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入。

昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

平成元年(1989)

1. 24 救急車（2 B型）購入。
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始。

平成6年(1994)

4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数33名）
4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成7年(1995)

2. 16 水槽付ポンプ車（水－ⅠA型）購入。
3. 18 訓練塔竣工式。
12. 22 消毒室完成。

平成8年(1996)

3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
12. 13 指令車購入。
12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数40名）

平成9年(1997)

4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。
5. 15 救急救命士が誕生。

平成10年(1998)

2. 4 ポンプ車（CD－Ⅰ型）購入。
4. 1 救急救命士業務の運用を開始。
10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。
11. 24 積載車購入。

平成11年(1999)

1. 21 広報車購入。
6. 2 救急救命士24時間体制開始。
8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場。

平成12年(2000)

4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

3. 7 高規格救急車購入。
3. 10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

4. 1 消防職員服制改正。

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)。
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入。
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。

平成20年(2008)

- 3. 14 救助工作車(Ⅱ型)購入。
- 3～9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 12 指揮車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)。
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)。
- 4.13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入。
- 12.27 広報車購入。

平成25年(2013)

- 8.21 全国優良消防職員表彰受賞
- 11.18 救急医療功労者知事表彰受賞

平成26年(2014)

- 3.24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入。
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入。

平成27年(2015)

- 1.31 資機材搬送車購入。
- 4. 1 救命サポート事業開始。
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数58名）
- 8.26 消防支援隊発足。（35名）
- 11.26 高規格救急車購入。

歴代消防長

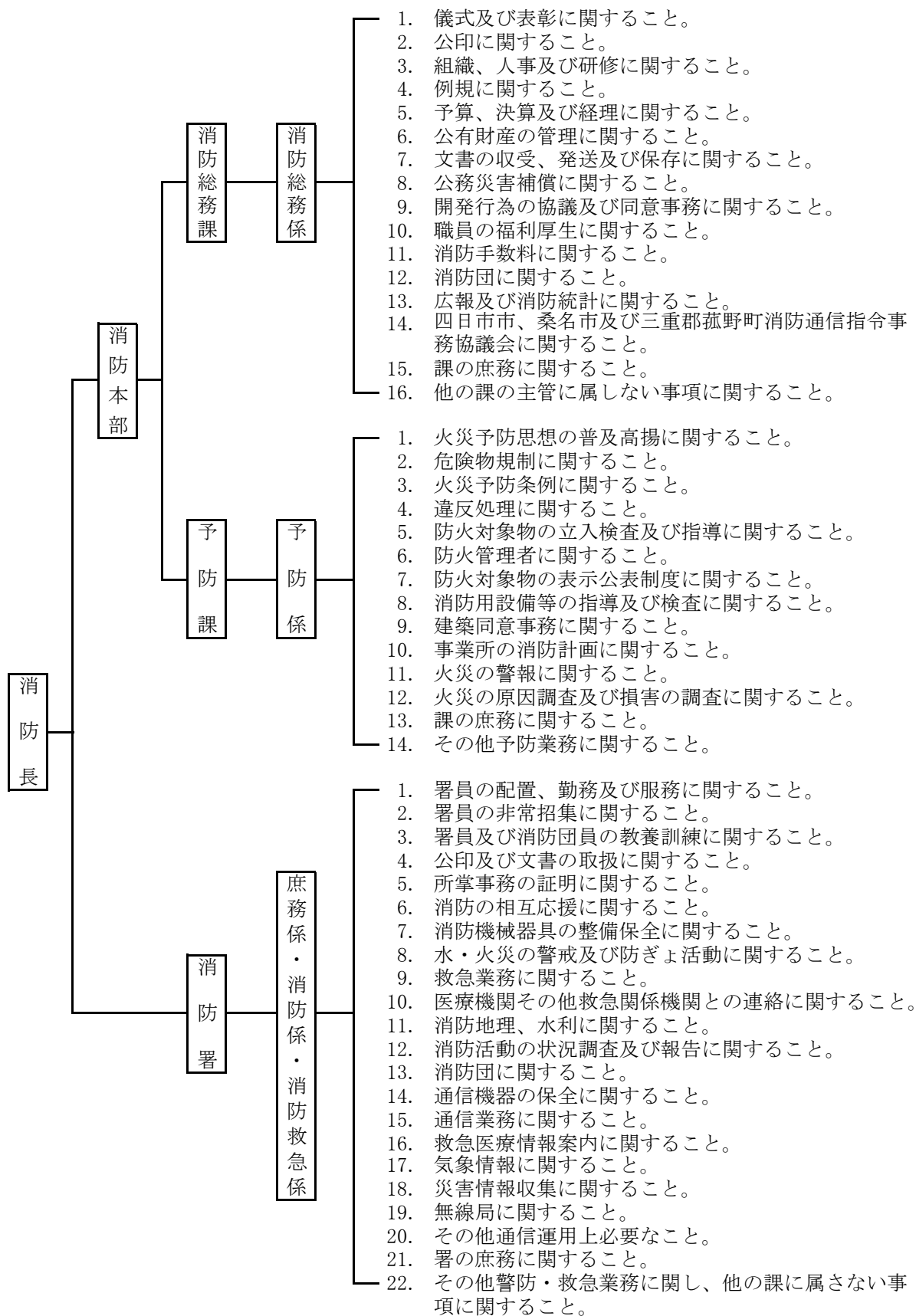
初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	現	職

平成27年中の主な行事

1. 11	消防出初式〔保健福祉センター「けやき」北駐車場〕
1. 22	文化財防火デーに伴う特別消防訓練〔竹成大日堂〕
2. 22	防火広報〔町内一円〕
2. 23	春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔湯の山介護老人保健施設〕
3. 1～3. 7	春の火災予防運動
4. 5	消防辞令交付式〔農村センター体育館〕
5. 19	菰野町防火協会理事会総会〔農村センター研修室〕
5. 27	危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔エッソ菰野町神森給油所〕
5. 31	菰野町水防訓練〔菰野町役場南 三滝川河川敷〕
6. 14～6. 20	危険物安全週間
6. 28	菰野町消防団夏期訓練〔菰野町役場北駐車場〕
7. 29	消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
8. 26	菰野町消防支援隊発足式〔消防本部〕
8. 30～9. 5	防災週間
8. 30	菰野町総合防災訓練〔町内一円〕
9. 1	防災週間に伴う特別消防訓練〔ホテル湯の本〕
9. 6～9. 12	救急医療週間
9. 20	消防自動車写生大会〔消防本部〕
10. 1	三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕
11. 8	秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔福王山共有林及び福王神社駐車場周辺〕
11. 9～11. 15	秋の火災予防運動
11. 27	集団救急救護訓練〔消防本部〕
12. 28～12. 31	年末特別警戒〔町内一円〕

消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌

平成28. 4. 1現在



消防予算

(千円)

区分 年度	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
平成24年度	398,128	35,207	80,118	245	513,698
平成25年度	401,645	39,242	189,765	232	630,884
平成26年度	420,660	41,595	94,947	65	557,267
平成27年度	444,465	42,957	259,525	65	747,012
平成28年度	470,568	39,298	47,989	50	557,905

一般会計予算に占める消防費の割合

区分 年度	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率 (%)
平成24年度	11,450,000	513,698	4.5
平成25年度	11,100,000	630,884	5.7
平成26年度	11,344,000	557,267	4.9
平成27年度	12,210,000	747,012	6.1
平成28年度	13,860,000	557,905	4.0

消防費に対する人口・世帯当り額

区分 年度	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口 1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成24年度	41,171	15,014	513,698	12	34
平成25年度	41,311	15,237	630,884	15	41
平成26年度	41,329	15,387	557,267	13	36
平成27年度	41,419	15,636	747,012	18	48
平成28年度	41,540	15,828	557,905	13	35

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2)	2	△ 1
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	7	△ 2

(人)

人 員	消 防 力 の 整 備 指 針 に よ る 区 分 別 算 定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制＝15人	60	34	△ 26
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制＝12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制＝15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制＝ 9人			
		指 揮 車	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	4	△ 1	
そ の 他 の 人 員		8	8	0		
合 計			76	49	△ 27	

平成28.4.1現在

職員階級別・所属別配置状況

平成28. 4. 1現在

所属	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
消防総務課	1	1	4	2		3	11
予防課		1	1	1	1		4
消防署		1	17	2	9	5	34
合 計	1	3	22	5	10	8	49

職員階級別勤続年数状況

平成28. 4. 1現在

勤続年数	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
1年未満						3	3
1年						2	2
2年						1	1
3年					2	1	3
4年							
5年					2		2
6年					1		1
7年					1	1	2
8年					1		1
9年					1		1
10年					1		1
11年							
12年				1	1		2
13年							
14年				1			1
15年			1	2			3
16年							
17年			1	1			2
18年			2				2
19年			3				3
20年							
21年							
22年			5				5
23年			1				1
24年			1				1
25年							
26年			1				1
27年							
28年			2				2
29年							
30年							
31年	1	3	5				9
合 計	1	3	22	5	10	8	49

職員階級別年齢状況

平成28. 4. 1現在

年 齢	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳						1	1
19歳							
20歳							
21歳						3	3
22歳						1	1
23歳							
24歳						2	2
25歳						1	1
26歳					1		1
27歳					3		3
28歳					1		1
29歳					3		3
30歳					2		2
31歳							
32歳							
33歳				1			1
34歳				2			2
35歳				1			1
36歳							
37歳				1			1
38歳			1				1
39歳			1				1
40歳			3				3
41歳			2				2
42歳			1				1
43歳			2				2
44歳			2				2
45歳							
46歳			2				2
47歳			1				1
48歳							
49歳							
50歳							
51歳			6				6
52歳							
53歳							
54歳							
55歳		2	1				3
56歳							
57歳							
58歳	1	1					2
59歳							
合 計	1	3	22	5	10	8	49

平均年齢 37.8 歳

外部研修等派遣状況

平成27年度

派遣先	区分	科 目	期 間	人 員
東京研修所		救急救命東京研修所（第49期）	27. 9. 2～28. 3. 14	1
消防大学校		消防団教育訓練者育成コース（第1回）	27. 12. 14～27. 12. 18	1
三重県消防学校		特別科 指導救命士養成課程（第1期）	27. 12. 7～27. 12. 18	2
		特別科 指揮課程（第3期）	27. 12. 7～27. 12. 11	2
		火災調査科 火災調査課程（第16期）	28. 1. 18～28. 1. 29	1
		特殊災害科 特殊災害課程（第6期）	27. 12. 14～27. 12. 22	1
		救助科 救助課程（第25期）	28. 1. 6～28. 2. 5	1
		中級幹部科（第24期）	28. 3. 2～28. 3. 10	1
救 急		I C L S（心肺蘇生二次救命処置研修）	27. 5. 24	1
		日本臨床救急医学会	27. 6. 4～27. 6. 6	1
		J P T E Cプロバイダー更新コース	27. 7. 11	1
		J P T E Cプロバイダーコース外傷病院前救護研修	27. 5. 20・27. 7. 11	2
		M C L S（多数傷病者対応研修）	27. 8. 8・27. 8. 9	2
		I S L S（神経救急蘇生研修）	27. 9. 5	1
		救急コ・メディカルセミナー	27. 10. 15	3
		三重県臨床工学セミナー（初級心電図）	27. 10. 25	1
		全国救急隊員シンポジウム	27. 12. 3～27. 12. 4	1
		12誘導心電図セミナー	27. 12. 21	1
		P S L S（脳卒中病院前救護講習）	28. 1. 18	1
		B L Sヘルスケア（心肺蘇生一次救命処置研修）	28. 2. 6	1
		P A L S（小児、乳児心肺蘇生二次救命処置）	28. 3. 12～28. 3. 13	1
		救急救命士処置拡大講習	27. 7. 9～27. 7. 10	2
			27. 8. 12～27. 8. 14	1
			27. 8. 26・27. 8. 28	1
			28. 1. 12～28. 1. 13	1
			28. 1. 31～28. 2. 2	3
			28. 2. 15～28. 2. 17	1
			28. 2. 18～28. 2. 20	1
救 助		アドバンスドローブレスキューⅠ	27. 5. 25～27. 5. 26	2
		第18回全国消防救助シンポジウム	27. 12. 18	1
		アリゾナボーテックスフレーム講習	28. 2. 10～28. 2. 12	2
予 防		観光予防セミナー	27. 6. 30	1
		違反是正研修会	27. 8. 19	1
		火災調査研究発表会	27. 10. 14	1
		消防法令違反是正事例研究会	27. 10. 29	2
		製品安全業務報告会	27. 11. 19	1
		高圧ガス講習会	27. 11. 25	1
		東海地区消防機関事故原因究明技術研修会	27. 12. 11	1
		消防設備等保守点検業務研修会	27. 12. 3	1
そ の 他		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	27. 8. 19～27. 8. 21	1
		緊急自動車ドライバー安全運転研修	27. 11. 25～27. 11. 26	1

各種訓練実施状況

平成27年度

内容	区分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		11	11	4
法 学 一 般		31	42	11
地 理 及 び 水 利		330	373	123
火 災 予 防		140	172	57
勤 務 要 綱		392	472	136
消 防 行 動		28	126	26
消 防 戦 術		195	446	92
消 防 機 械		546	1,501	333
実 施 訓 練		976	3,199	584
訓 練 礼 式		25	147	13
救 急 学		1,307	948	327
体 育		71	2,269	310

消防本部(署)庁舎の概要

平成28. 4. 1現在

所 在 地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積：6226.17㎡)				
区 分	庁 舎	仮設庁舎	訓 練 棟		
	消防署	消防本部	主 塔	副 塔	倉 庫 棟
建 設 年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工
構 造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡	
4 F			32.4㎡		

通信施設状況

平成28. 4. 1現在

	種 類	数量	備 考
菰野町消防本部・消防署	車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波1～2・四日市波1～4・桑名波1～3・統制波1～3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	15局	菰野波1～2・四日市波1～4・桑名波1～3・統制波1～3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消 防 団 車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2・消防団波
	消 防 団 携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2・消防団波
	半 固 定 無 線 局 (デ ジ タ ル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1～2・四日市波1～4・桑名波1～3・統制波1～3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消防救急デジタル無線基地局 活 動 波	1局	活動波：みえきたしれいこもの（菰野波1～2） 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共 通 波（菰野中継所）	1局	みえきょうつうこもの（主運用波・統制波1～3） 【通信所】こものしょうぼう
	三 重 県 防 災 行 政 無 線 局	3局	衛星局・地上局・可搬型衛星地球局
	携 帯 移 動 無 線 局 (署 活 動 用 携 帯 型)	33局	こもの310～339・こもの300～302 署活1～2・消防団波
	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局 (携 帯 型)	15台	
	車 両 運 用 端 末 装 置 Ⅲ 型 (A V M)	11台	ドコモFOMA回線
	救急医療情報システム災害時優先電話	1台	携帯電話
	救急医療情報システム端末	1回線	
	F A X	1回線 2ch	一般用・福祉用
	A S K メール発信システム	1式	「菰野町行政情報メール」と連動
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆 付 け 通 報 装 置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用（玄関前に設置）
	一 般 加 入 電 話	2回線 4ch	
	救 急 車 積 載 携 帯 電 話	6台	
三重北消防指令センター	携 帯 電 話	2台	本部1・署1
	報 知 電 話（119）	7回線 14ch	固定電話・携帯電話・IP電話
	順 次 指 令 装 置	6回線 12ch	指令台連動
	消 防 テ レ フ ォ ン ガ イ ド	1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキーにより同時に5回線受信可能
	F A X 1 1 9	1台	
	指 令 メ ー ル	1式	火災指令メール
	Eメール119受信装置	2台	

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています

現有消防車両

平成28. 4. 1現在

車種	区分	車 名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量(cc)	車両重量(kg)
は し ご 車		日 野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	18,790
救 助 工 作 車		日 野	Ⅱ 型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,140
水槽付ポンプ車		日 野	水-ⅠA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	7,560
ポ ン プ 車		日 野	CD-Ⅰ型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	5,880
救 急 1 号 車		日 産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	2,880
救 急 2 号 車		日 産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	2,850
救 急 予 備 車		日 産	高規格	三重800す2244	H18. 2. 20	3,490	2,900
査 察 車		ト ヨ タ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	1,660
広 報 車		ト ヨ タ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,120
積 載 車		いすゞ	2t 積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	2,740

消防水利状況

平成28. 4. 1現在

水利	地 区	菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以 下	5		1		2	8
	管 径 75 mm	171	81	98	121	110	581
	管 径 100 mm	149	44	37	104	75	409
	管 径 150 mm 以 上	159	61	36	84	82	422
	合 計	484	186	172	309	269	1,420
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満	2		2	7	2	13
	容 量 20 m ³ 以 上 40 m ³ 未 満	22	3	7	13	4	49
	容 量 40 m ³ 以 上	4	2	1	5	8	20
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³	7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³	1	1	1	1	1	5
	プ ー ル	4	1	1	2	1	9
	合 計	40	8	13	30	18	109
自 然 水 利	河 川	53	12	9	75	52	201
	池	10	2	3	22	12	49
	合 計	63	14	12	97	64	250

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

	救 急 講 習		普 通 救 命 講 習		応急手当普及員講習	
	回 数	受講者数	回 数	修了者数	回 数	修了者数
平 成 7 年 度	10	351	5	93		
平 成 8 年 度	16	330	7	78		
平 成 9 年 度	18	384	10	130		
平 成 10 年 度	12	310	8	90		
平 成 11 年 度	14	942	8	142		
平 成 12 年 度	14	382	11	206		
平 成 13 年 度	9	257	13	151		
平 成 14 年 度	9	396	24	408		
平 成 15 年 度	14	592	13	197		
平 成 16 年 度	17	828	16	263		
平 成 17 年 度	9	1,094	33	480	1	12
平 成 18 年 度	15	734	59	840	5	60
平 成 19 年 度	16	461	60	989	3	57
平 成 20 年 度	4	226	71	1,013	4	72
平 成 21 年 度	11	262	44	592	3	45
平 成 22 年 度	7	302	35	512	2	38
平 成 23 年 度	9	319	45	699		
平 成 24 年 度	11	468	39	628	2	26
平 成 25 年 度	6	276	37	571	1	29
平 成 26 年 度	17	459	45	564	3	28
平 成 27 年 度	21	526	47	636	3	42
合 計	259	9,899	630	9,282	27	409

自主防災組織

平成28. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成	379 人)
	鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成	77 人)
	竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成	68 人)
	朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成	166 人)
	千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成	140 人)
合計 5 隊 総員 830 人		

(2) 自 警 団

合計 32 団 総員 701 人

菰野地区	神菰野明第一区 菰野第野村森区	(14 人) (38 人) (138 人) (18 人) (40 人) (14 人)
計 6 団 総員 262 人		
鵜川原地区	大下強原村北底沢諏訪	(15 人) (15 人) (15 人) (12 人) (10 人) (9 人)
計 6 団 総員 76 人		
竹永地区	竹永成井	(11 人) (34 人)
計 2 団 総員 45 人		
朝上地区	榊松小田美田日切一本青 涛島新山口丘畑木葉 園田団地区	(13 人) (12 人) (21 人) (14 人) (26 人) (9 人) (12 人) (4 人) (10 人) (9 人)
計 10 団 総員 130 人		
千種地区	千音潤三岡福奥江 草羽田滝園松郷野	(23 人) (12 人) (34 人) (41 人) (13 人) (18 人) (10 人) (37 人)
計 8 団 総員 188 人		

緊急避難所

平成28. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22	059-392-2436	32
大 羽 根 園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰 野 第 一 区	茶屋の上公会所	大字菰野9743		16
	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	212
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	25
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿 野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福 村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神 森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大 強 原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下 村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川 北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池 底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2	059-394-1269	44
諏 訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹 成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	84
永 井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田 光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉 谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榑	榑公会所	大字榑303		16
松 涛 園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1	059-396-4118	33
田 口 新 田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美 山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田 口	田口公会所	大字田口2493		56
日 丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切 畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根 の 平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一 本 木 団 地	一本木公会所	大字榑895-44		24

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
青 葉 台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		118
千 草	千草公会所	大字千草2763	059-394-6280	152
	千草区区民センター	大字千草2510		80
音 羽	音羽公会所	大字音羽585-1		94
潤 田	潤田集落研修センター	大字潤田499		239
三 滝 園	三滝園公会所	大字潤田650-177		78
岡	岡公民館	大字千草4127-10		170
福 松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	126
奥 郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	129
江 野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	112

緊急避難所…有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
菰 野 地 区	菰野地区 コミュニティーセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝 上 地 区	朝上地区 コミュニティーセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千 種 地 区	農村環境改善センター	大字潤田4418	059-394-3444	17

有効スペース(和室) 3㎡×1人

◎緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難所及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
菰 野 地 区	菰野町B & G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2112	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜 川 原 地 区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹 永 地 区	竹永小学校	大字竹成2598-2	059-396-0009	198
朝 上 地 区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千 種 地 区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
菰 野 地 区	菰野保育園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園・菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鵜 川 原 地 区	鵜川原幼稚園・鵜川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹 永 地 区	竹永幼稚園・竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝 上 地 区	朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	朝上幼稚園	大字田光4293	059-396-4774	41
千 種 地 区	千種幼稚園・千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

◎収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園・幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。

消防団



菰野町消防出初式において、一斉放水を行いました。指揮者の合図に合わせて放水角度に変化をつけるなど統率の執れた放水を行い、訪れた見学者から歓声が上がりました。

菰野町消防出初式（一斉放水）

平成28年1月17日

於：菰野町役場 三滝川河川敷

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報・防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割をはたしています。

平成27年中における主な活動は、火災出動8回、延べ出動人員280人。その他、出初式・各種訓練・警戒・警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

歴代消防団長（合併以降）

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	現職	

消防団の機構・団員数

平成28. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団（10班）

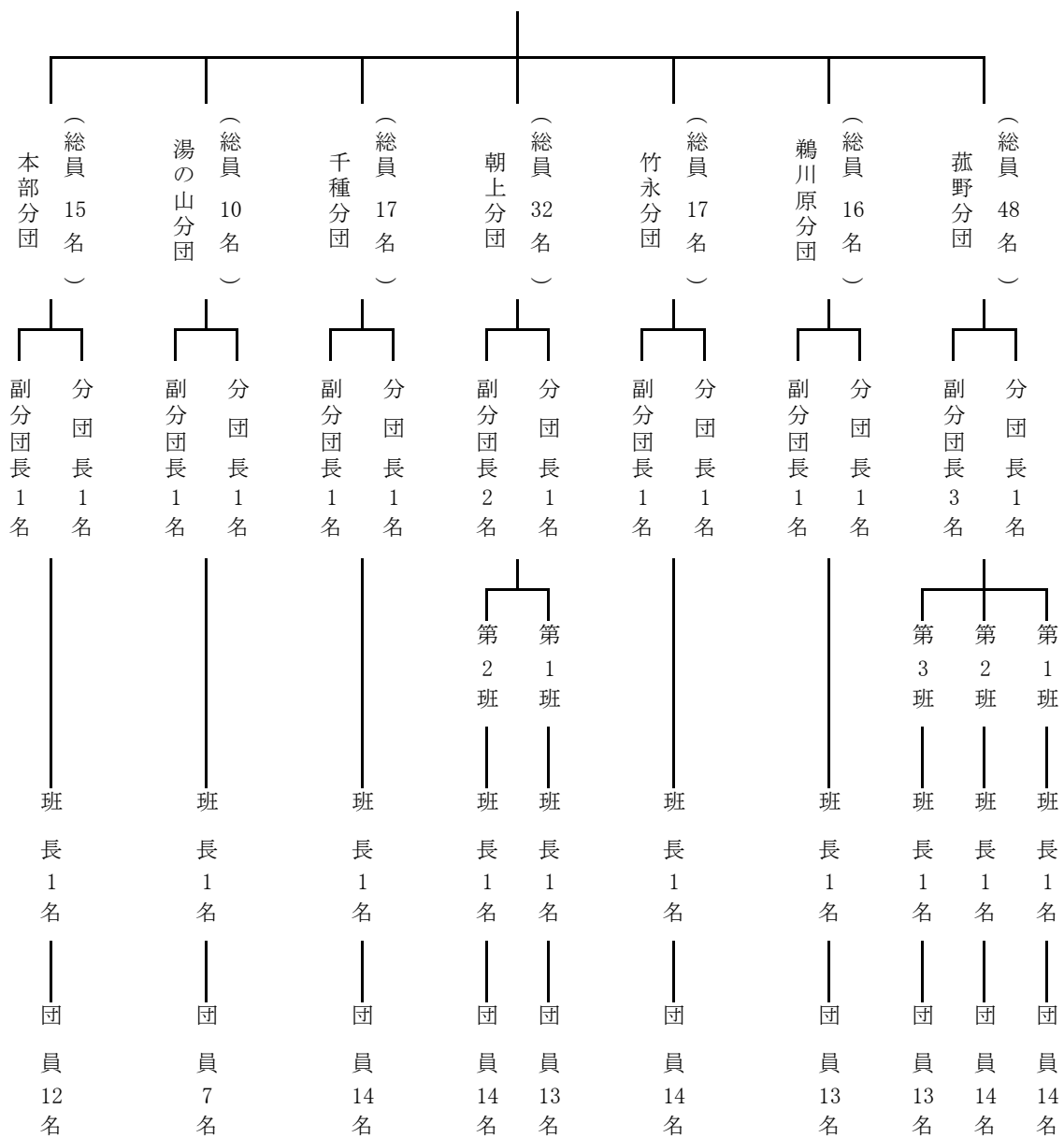
団員定数 168名

現有団員数 158名

菰野町消防団

（総員 158名）

消防団本部 団長 1名
副団長 2名



年齢別及び階級別消防団員数

平成28. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18 歳 ～ 20 歳						1	1
21 歳 ～ 25 歳						21	21
26 歳 ～ 30 歳					2	48	50
31 歳 ～ 35 歳				2	3	33	38
36 歳 ～ 40 歳			2	3	5	23	33
41 歳 ～ 45 歳			1	5		1	7
46 歳 ～ 50 歳			1				1
51 歳 ～ 55 歳			2			1	3
56 歳 ～ 60 歳		1	1				2
61 歳 ～ 65 歳		1					1
65 歳 以 上	1						1
合 計	1	2	7	10	10	128	158

平均年齢 32.7 歳

在職年数別消防団員数

平成28. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 員 数	52	52	39	5	3	4	3	158

消防団員報酬

平成28. 4. 1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員各種手当

平成28. 4. 1現在

項 目	水 火 災	訓 練	警 戒	ポンプ点検	車両検査	賄 手 当
1 回 当 り の 手 当 (円)	5,000	2,000	1,000	700	700	700

※水火災については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成表

平成28. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	11	98	34	15	158

消防団消防車両配置状況

平成28. 4. 1現在

区分 分団名	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両重量 (kg)
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 130
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 400
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	3, 990
鵜川原分団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 290
竹 永 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ4047	H13. 2. 7	4, 570	4, 140
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 110
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4, 770	4, 360
千 種 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4, 570	4, 080
湯 の 山 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4, 570	4, 140
本 部 分 団	トヨタ	BD-I	三重 88ほ3703	H 4. 1. 27	3, 950	3, 060
団 本 部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	2, 890
〃	トヨタ	付積	三重 88ほ7972	H 7. 8. 30	1, 990	1, 850
〃	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 350

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予 防



菰野町文化祭で消防広場を開設し、来場者の方々に火災が起きたときの初期消火の大切さを伝え、消火器の使い方について学んでももらいました。

菰野町文化祭

平成27年11月1日

於：菰野町文化祭会場 消防広場

予 防

消防の仕事として、住民の方がまずイメージされるのが、火災時の消火活動のような消防隊の活動、あるいは救急隊の活動です。しかし、火災等の災害を未然に防止することもまた、消防の重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事・講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置・維持・管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途			平成28. 4. 1現在			平成27. 4. 1現在		
			4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場						
	ロ	公会堂・集会場	37		37	37		37
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ						
	ロ	遊技場・ダンスホール	6		6	6		6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店	46		46	46		46
4		百貨店・マーケット・店舗	70		70	70		70
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	106	12	118	107	12	119
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	201	14	215	196	14	210
6	イ	病院・診療所・助産所	24	3	27	24	3	27
	ロ	老人短期入所施設等	11	3	14	11	3	14
	ハ	老人デイサービスセンター等	25		25	23		23
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2		2	2		2
7		小・中・高・大学・各種学校	29	2	31	29	2	31
8		図書館・博物館・美術館	5		5	5		5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1		1	1		1
	ロ	イ以外の公衆浴場	1		1	1		1
10		車両の停車場	4		4	4		4
11		神社・寺院・教会	44		44	44		44
12	イ	工場・作業場	167	3	170	166	3	169
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	13		13	13		13
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫	83		83	82		82
15		前各号に該当しない事業場	108	5	113	106	5	111
16	イ	特定複合用途防火対象物	30	2	32	29	2	31
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	10	1	11	9	1	10
合 計			1,023	45	1,068	1,011	45	1,056

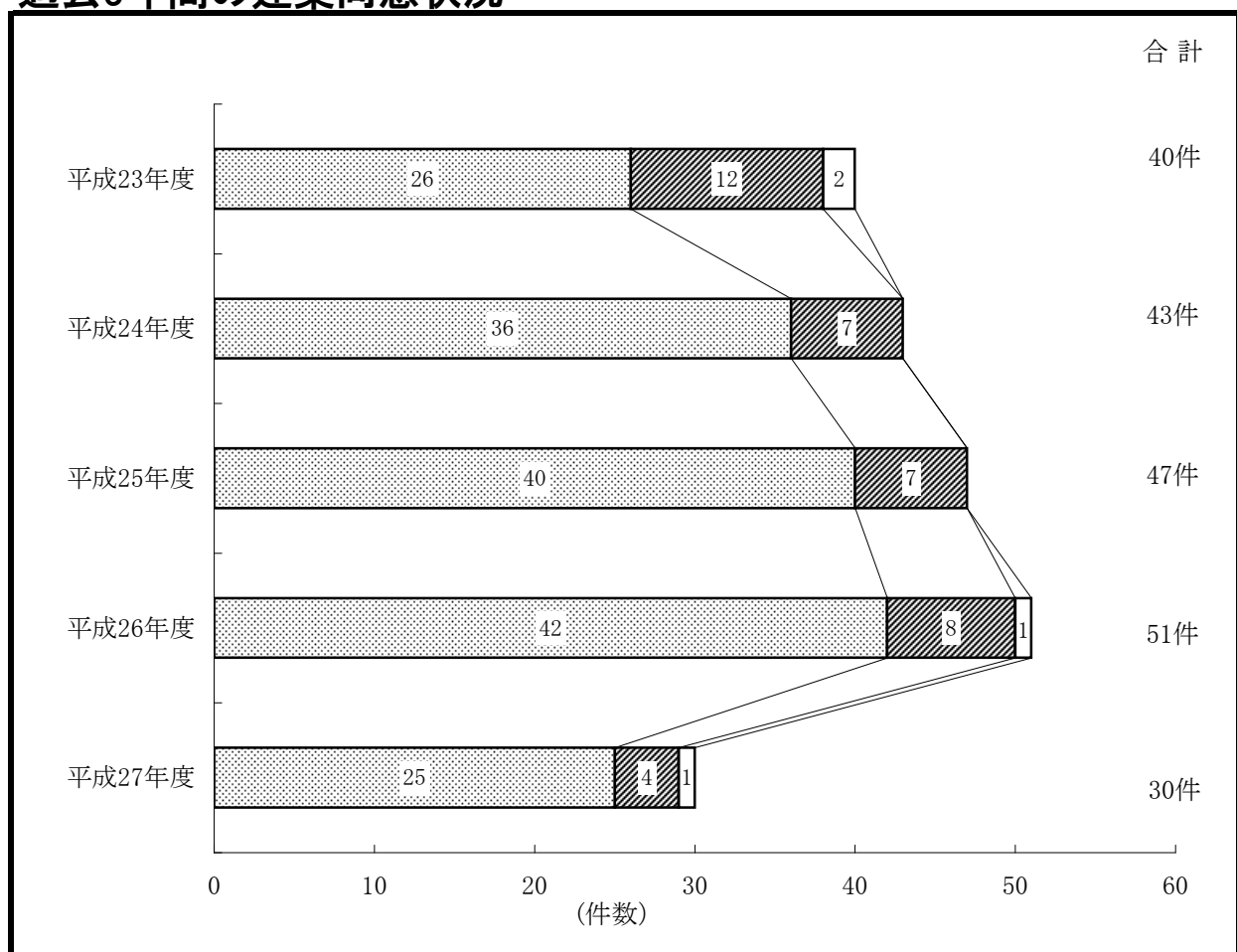
用途別建築同意状況

用 途			月 別														27年度 合 計	26年度 合 計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場																
	ロ	公会堂・集会場																2
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ																
	ロ	遊技場・ダンスホール																
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																
	ニ	カラオケボックス等																
3	イ	待合・料理店																
	ロ	飲食店																2
4		百貨店・マーケット・店舗																1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所											1				1	
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅								1							1	5
6	イ	病院・診療所・助産所												1			1	1
	ロ	老人短期入所等	1														1	1
	ハ	老人デイサービス等	2			1											3	2
	ニ	幼稚園・特別支援学校																
7		小・中・高・大学・各種学校										2					2	
8		図書館・博物館・美術館																
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場																
	ロ	イ以外の公衆浴場																
10		車両の停車場																
11		神社・寺院・教会																1
12	イ	工場・作業場			1							1	2				4	6
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																
13	イ	自動車車庫・駐車場																3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫																
14		倉庫		2							1						3	2
15		前各号に該当しない事業場					1						2				3	9
16	イ	特定複合用途防火対象物																
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物																2
その他		住 宅	1	1			4						2				8	8
		そ の 他	1				1		1								3	6
合 計			4	3	1	1	6		2	1	3	7	1				30	51

工事別建築同意状況

工事種別 区分	新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	そ の 他	平成27年度 合 計	平成26年度 合 計
同 意	25	4		1		30	51
不 同 意							
合 計	25	4		1		30	51

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

製造所等の別 区分		製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					27 年 度 合 計	26 年 度 合 計	
			小 計	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油		第一種販売	第二種販売			一 般
												営業用	自家用					
倍 数 別	検査済施設数	1	132	28	27	7	41	1	24	4	57	16	15		1	25	190	193
	5倍以下		59	10	4	7	27	1	8	2	13		3			10	72	75
	5倍超10倍以下		24	3	9		11			1	7					7	31	31
	10倍超50倍以下	1	22	2	8		3		8	1	22	4	12		1	5	45	45
	50倍超100倍以下		7		3				4		5	2				3	12	12
	100倍超150倍以下		11	4	3				4		2	2					13	13
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		3	3							6	6					9	9
	1,000倍超		4	4													4	4
類 別	第 1 類		1	1													1	1
	第 2 類																0	
	第 3 類																0	
	第 4 類	1	128	24	27	7	41	1	24	4	57	16	15		1	25	186	189
	第 5 類		1	1													1	1
	第 6 類																0	
	混 在		2	2													2	2

危険物施設許可認可状況

区分 製造所等の別		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更					
		27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
製 造 所													
貯 蔵 所	屋 内												
	屋外タンク												
	屋内タンク											2	1
	地下タンク			2				2					3
	簡易タンク												
	移動タンク	1		3		1		3				2	4
	屋 外												
取 扱 所	給 油			3	1			2	1	3	1		1
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般		1	3	3		1	3	3	2	3		1
合 計		1	1	11	4	1	1	10	4	5	4	4	10

各種届出処理状況

平成27年度

区 分	件 数	区 分	件 数
防 火 管 理 者 選 解 任 届	60	蓄 電 池 設 備 設 置 届	13
消 防 計 画 書	60	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	281	水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 設 置 届	
液 化 石 油 ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	11	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	26
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	27	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	1
消 防 訓 練 実 施 届	148	毒 物 ・ 劇 物 貯 蔵 取 扱 届	
炉 設 置 届		火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	106
ボ イ ラ ー 設 備 等 設 置 届	4	煙 火 (打 上 げ ・ 仕 掛 け) 届	11
発 電 設 備 設 置 届	2	消 防 用 設 備 等 着 工 届	39
変 電 設 備 設 置 届	13	消 防 用 設 備 等 設 置 届	40
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	2	露 店 等 の 開 設 届	46

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	27 年 度	26 年 度
検 査 済 証	30	29

広報・啓発活動状況

平成27年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場（菰野町文化祭）		1回	約6,000人
庁 舎 見 学		5回	402人
訓 練 指 導		74回	3,883人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問		36件	36人
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	26,500部
写 生 大 会 ・ 防 火 習 字		各1回	906人
広報印刷物等	ポ ス タ ー		1,500枚
	チ ラ シ		2,400枚
	広 報 こ も の	6回	122,400部
	お 知 ら せ 版	16回	217,600部
そ の 他	の ぼ り	116日間	198本
	懸 垂 幕	21日間	3枚
	横 断 幕	47日間	25枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	24回	13,403台

【平成28年度全国統一防火標語】

「消しましょう その火その時 その場所で」

【平成28年度危険物安全週間推進標語】

「危険物 決めろ無事故の ストライク」

火災



防災週間の一環として、地震災害発生時における被害拡大が懸念される湯の山温泉街の宿泊施設を対象に、消防職団員の火災防ぎょ技術向上、宿泊施設職員の初動体制の確立を目的とした特別消防訓練を実施しました。

防災週間に伴う特別消防訓練

平成27年9月1日
於：ホテル湯の本

火 災

平成27年中は、12件の火災が発生し、これら全火災での損害額は31,489千円でした。

火災件数は、前年に比べて6件減少しました。建物火災の件数が7件で半数以上を占めているのが特徴です。

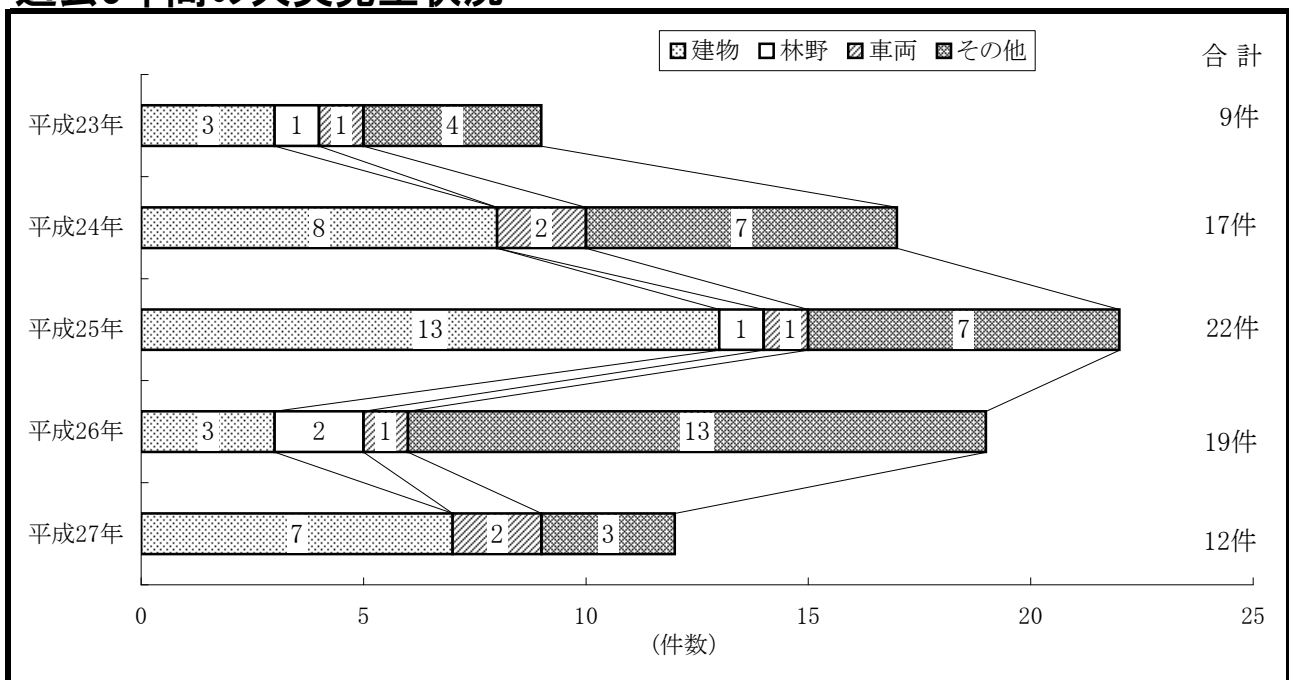
火災発生状況

区 分		年 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
全 国	火 災 件 数		50,006	44,189	48,095	43,741	
	出 火 率		3.9	3.5	3.7	3.4	
	1件当り損害額(千円)		2,256	2,030	1,890	1,950	
三重県	火 災 件 数		847	714	843	797	
	出 火 率		4.6	3.9	4.5	4.3	
	1件当り損害額(千円)		2,041	2,334	1,614	2,258	
菰野町	火 災 件 数		9	17	22	19	12
	出 火 率		2.2	4.1	5.3	4.7	2.9
	1件当り損害額(千円)		322	1,278	2,601	656	2,624

※出火率＝出火件数/人口×10,000

※菰野町人口41,560人(平成27年12月31日現在)

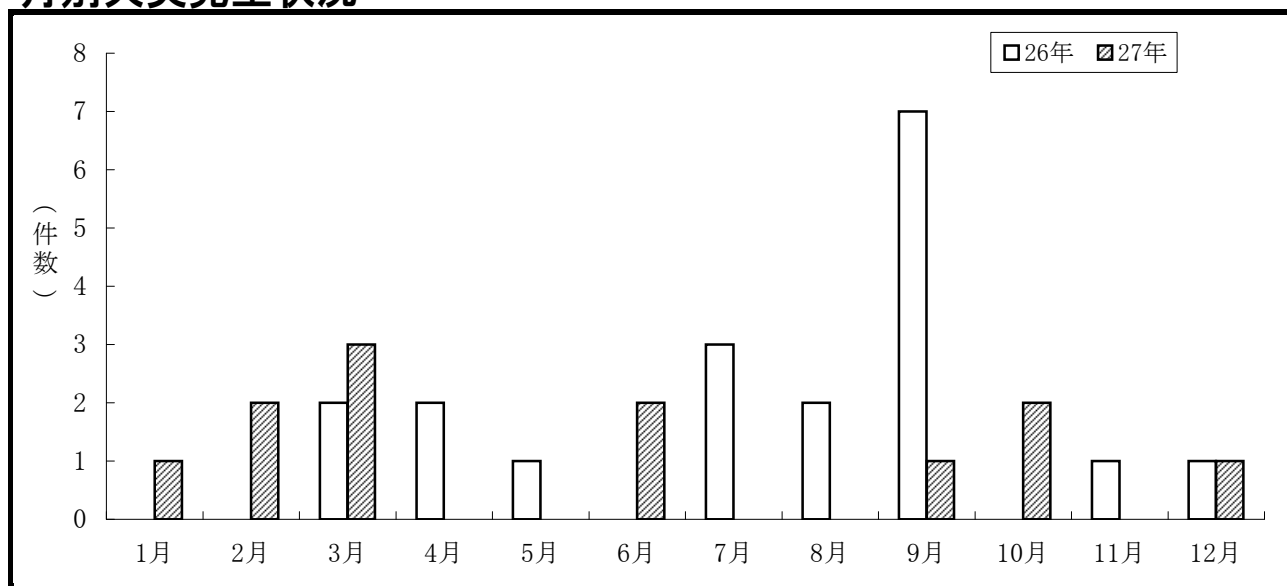
過去5年間の火災発生状況



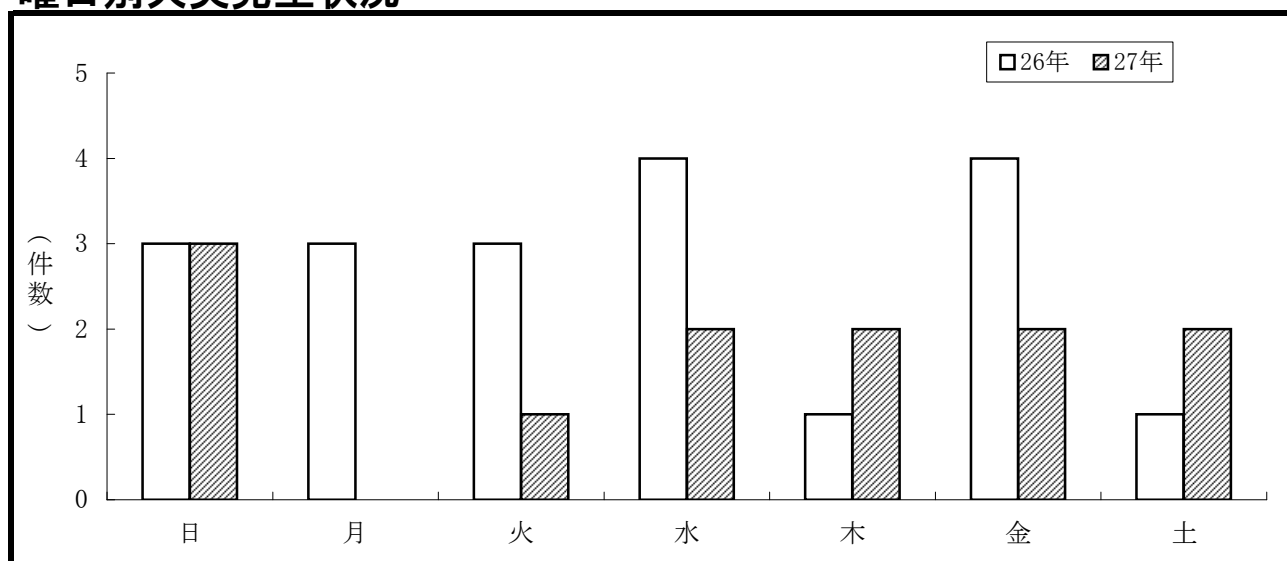
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷 者
菰野	4	1		1	2	95				1	1	2	1	803		
鵜川原	1				1											
竹永	2	2									2	2	1	241		
朝上	3	2		1		169		1		1	2	4	2	12,431		
千種	2	2				151		1	1	1		3	1	18,014		
合計	12	7		2	3	415		2	1	2	2	11	5	31,489	0	0

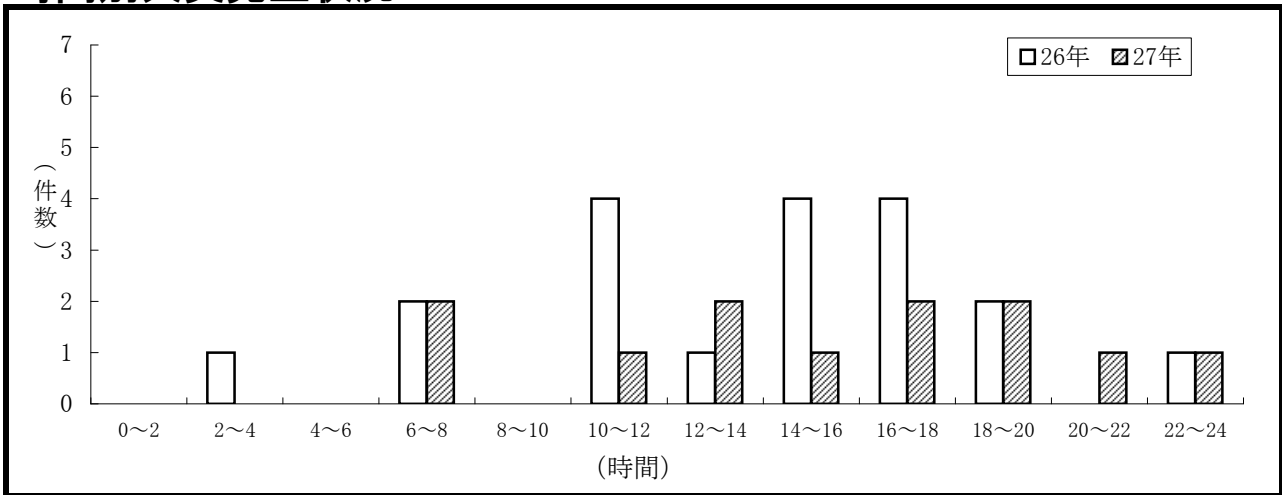
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出場状況

区分 \ 種別	火 災					火 災 以 外				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署 単 独 出 場	3		1	1	5	29	2	3	34	2
1 次 出 場	1		1	1	3					
2 次 出 場	3			1	4					
3 次 出 場										
事 後 聞 知										
出 場 件 数	7		2	3	12	29	2	3	34	2

出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 危険物施設 航空機・林野	第 1 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 4~5車両
	第 2 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
車両・特殊車両 危険物車両 枯草・その他	第 1 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 2~3車両
	第 2 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び応援分団 4~5車両
	第 3 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
中高層	第 1 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	地元分団及び本部分団 4~5車両
	第 2 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	全分団 11車両
建物(火報)		タンク車・ポンプ車 2車両	
事後聞知		タンク車・指揮車 1~2車両	

火災発生状況及び出火原因状況

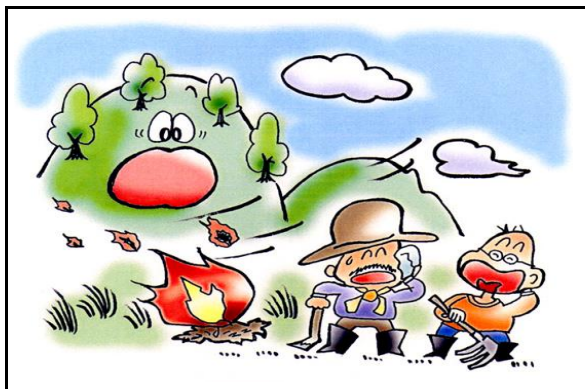
番号	火災種別	出 火 日 時	出 火 場 所	※ 覚 知 別	天 候	風 向	風 速 (m/s)	気 温 (℃)
1	その他	1 月 25 日 12 時 45 分	鵜川原 (川 北)	報知電話	晴	東	3	11
2	建 物	2 月 11 日 13 時 45 分	朝 上 (榑)	報知電話	晴	東北東	2	7
3	その他	2 月 27 日 17 時 00 分	菰 野 (菰 野)	報知電話	晴	北	4	5
4	建 物	3 月 3 日 22 時 00 分	朝 上 (田 光)	報知電話	雨	北西	2	6
5	建 物	3 月 5 日 12 時 10 分	千 種 (潤 田)	報知電話	晴	北北西	6	6
6	建 物	3 月 25 日 20 時 00 分	竹 永 (竹 成)	加入電話	曇	北北西	6	6
7	建 物	6 月 6 日 19 時 10 分	千 種 (千 草)	報知電話	晴	西北西	8	20
8	車 両	6 月 25 日 8 時 30 分	朝 上 (榑)	報知電話	晴	南	3	24
9	建 物	9 月 20 日 15 時 30 分	菰 野 (菰 野)	報知電話	晴	西	5	26
10	車 両	10 月 23 日 17 時 30 分	菰 野 (宿 野)	報知電話	晴	南西	1	19
11	その他	10 月 25 日 8 時 30 分	菰 野 (宝永台)	報知電話	晴	北北西	7	15
12	建 物	12 月 12 日 19 時 40 分	竹 永 (永 井)	報知電話	晴	北北西	0	11

※ 報 知 電 話 = 119番(携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

	湿 度	出 火 原 因 等			被 害 状 況
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	37	枯草焼き	火の粉が散る、遠くへ飛火する	枯草	畑の周辺の枯草及び法面を焼損
	61	ハンドトーチ	火源が動いて接触する	その他	樹脂類（廃棄物）及び建物一部を焼損
	44	不明	火遊び	ゴミ類	紙類、草等を焼損
	99	石油ストーブ（開放式）	引火する	第二石油類（灯油）	木造2階建て建物、一部鉄筋コンクリート平屋建て建物を全焼
	63	大型こんろ	放置する、忘れる	動植物油類	木造2階建て建物を半焼
	48	営業用炉	その他	動植物油類	熱風式焙煎機の一部を焼損
	60	その他の火の粉	火の粉が散る、遠くへ飛火する	まき、たきつけ	木造平屋建ての店舗兼住宅を全焼 隣接の納屋及び収容物を部分焼
	74	内燃機関	可燃物が動いて火源に触れる	繊維製品	車両1台を焼損
	46	溶接機	火花が飛ぶ	木材及び木製品	物置及び隣接する建物の一部を焼損
	66	内燃機関	可燃物が動いて火源に触れる	繊維製品	車両エンジンルームの一部を焼損
	42	たき火の火の粉	火源が動いて接触する	支持木材	物置を焼損
	80	ガスコンロ	本来の用途以外の不適の用に用いる	動植物油類	ビルトインコンロのグリル焼損

絵で見る火災原因(12件)



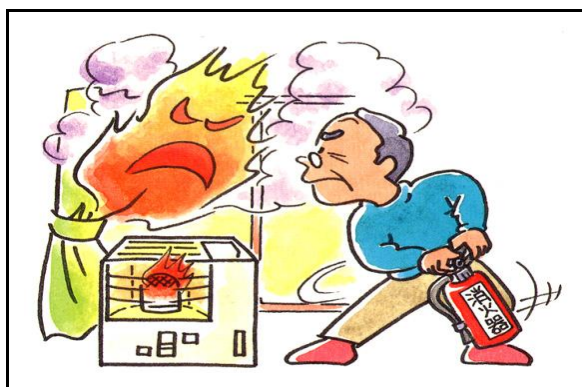
枯草・たき火 2件



ガスコンロ 2件



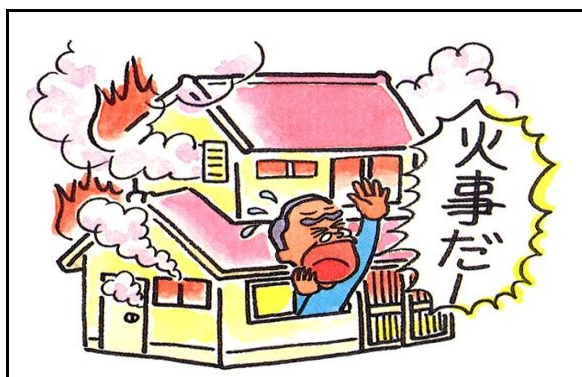
車両 2件



ストーブ 1件



その他 1件



不明 1件

救急・救助



菰野町では山岳事故による救助件数が増加傾向であることから、実践的な山岳救助技術の習得と関係機関との連携強化を図るため、定期的に山岳救助訓練を実施しています。

山岳救助訓練

平成27年6月16日
於：千種地区の山林にて

救 急

平成27年中の救急件数は1,433件、搬送人員は1,376人で2年連続で減少しました。1日あたり平均3.9件の出場で、町民29人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が909件(63.4%)で最も多く、続いて一般負傷が241件(16.8%)、交通事故が176件(12.3%)、その他が107件(7.5%)となりました。

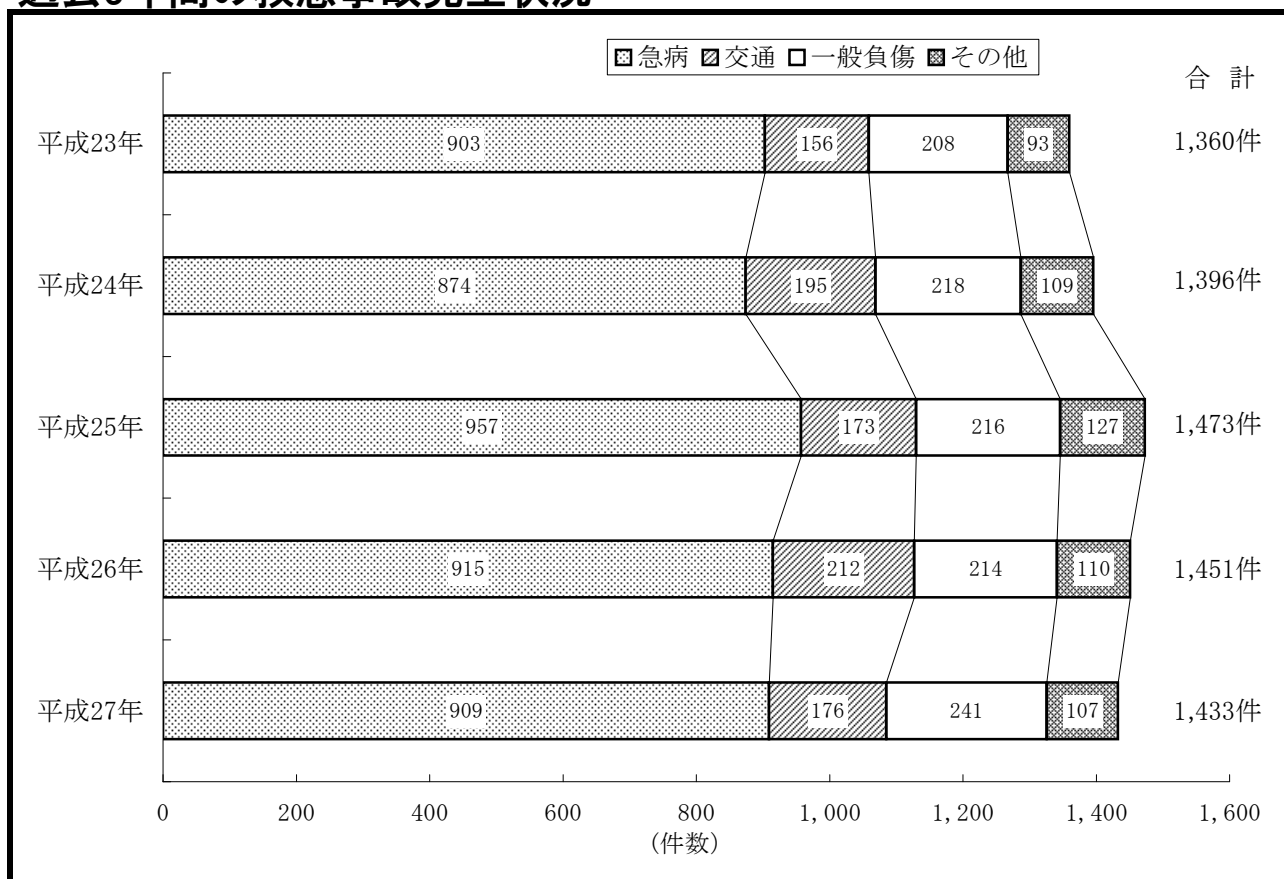
救急事故発生状況

区 別 \ 年 別		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
全 国	救急件数	5,707,655	5,802,455	5,915,683	5,984,921	
	発 生 率	446	453	466	467	
三 重 県	救急件数	83,223	87,076	90,560	89,277	
	発 生 率	449	469	488	481	
菰 野 町	救急件数	1,360	1,396	1,473	1,451	1,433
	発 生 率	330	338	355	350	345

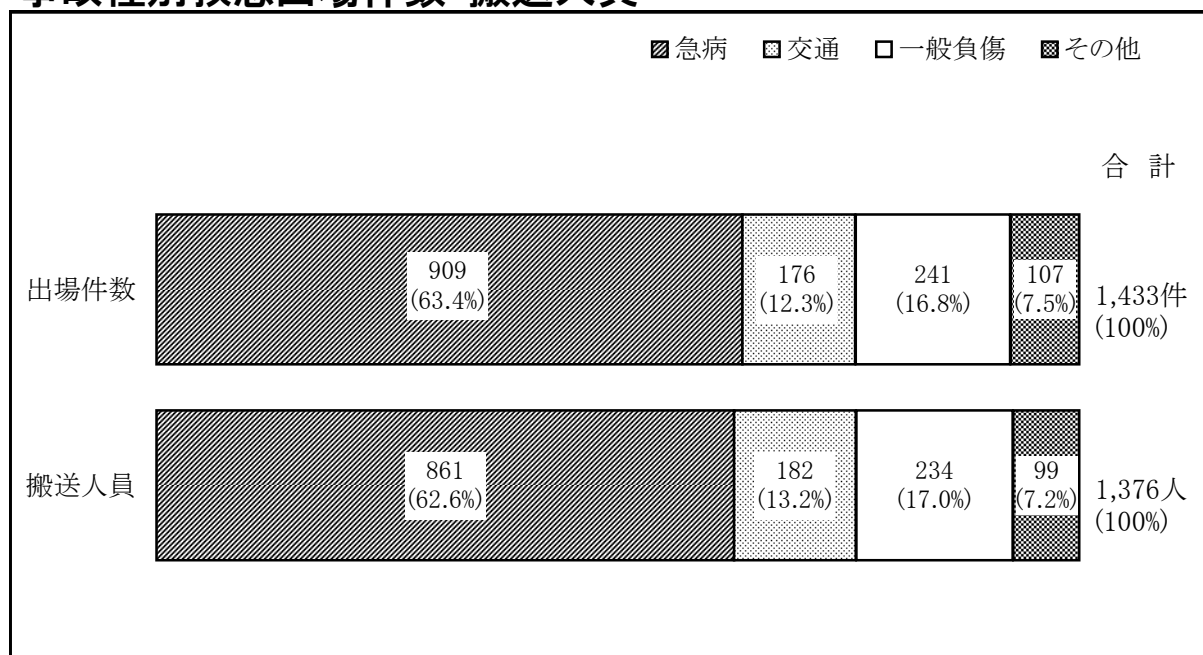
※発生率＝救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,560人(平成27年12月31日現在)

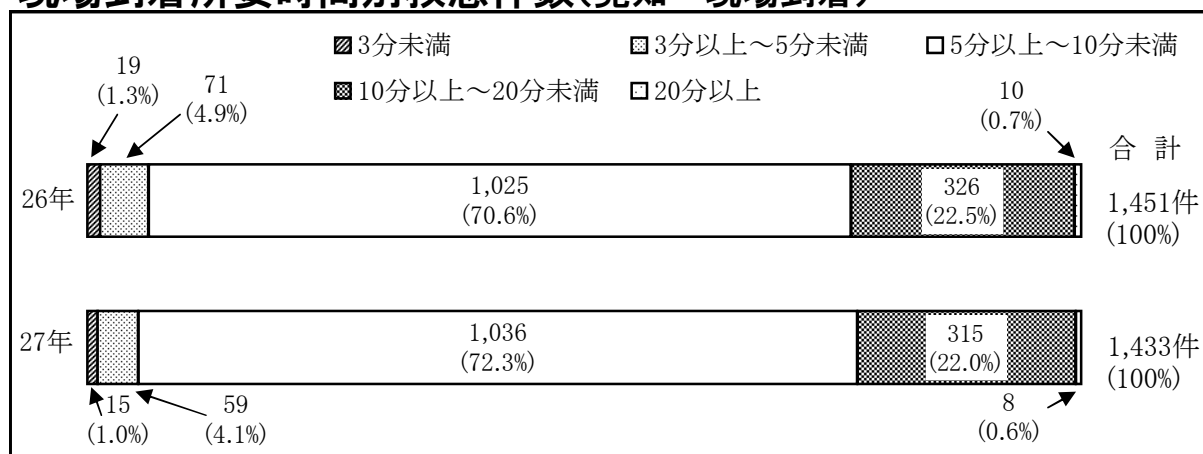
過去5年間の救急事故発生状況



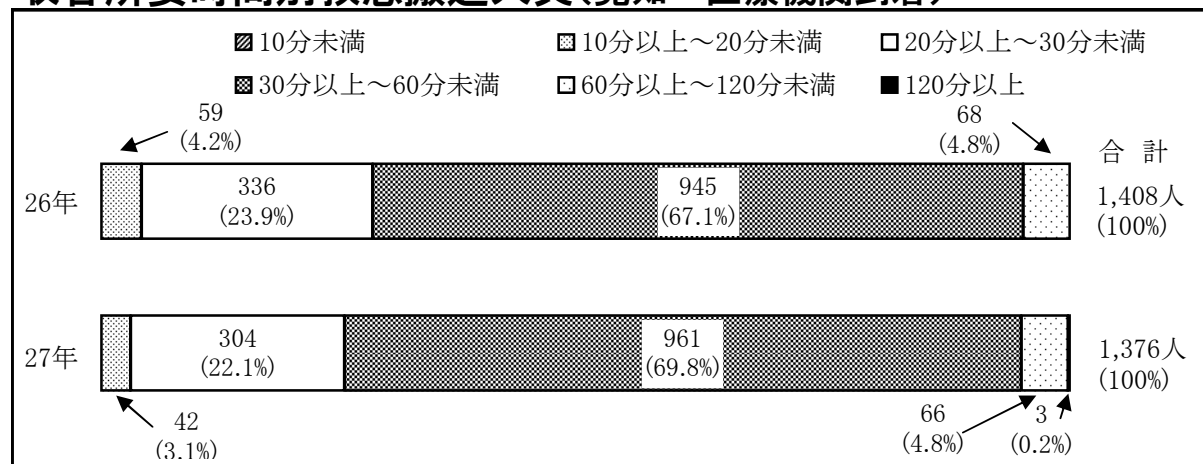
事故種別救急出場件数・搬送人員



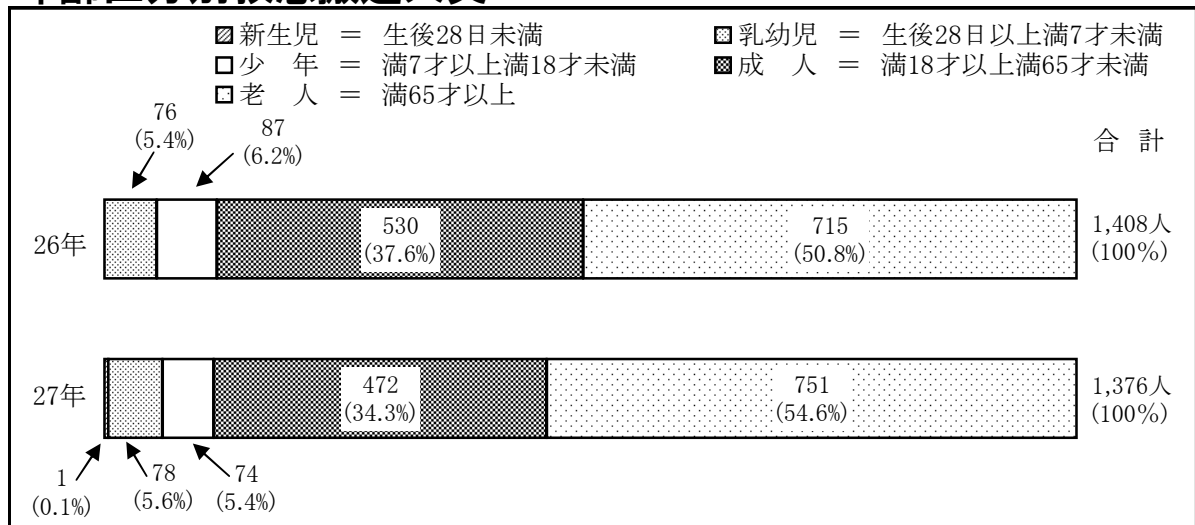
現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



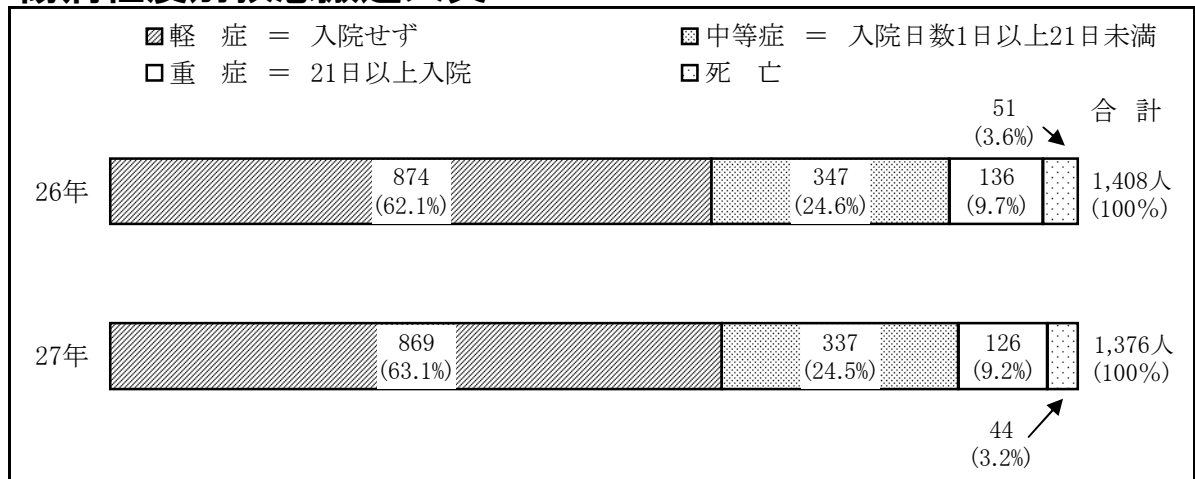
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



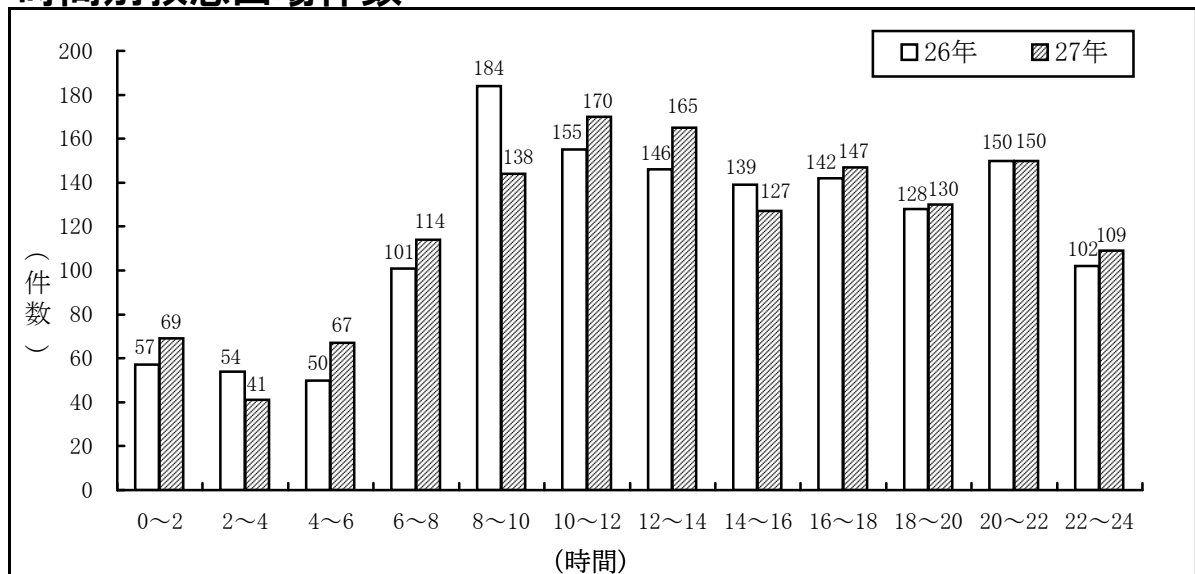
年齢区分別救急搬送人員



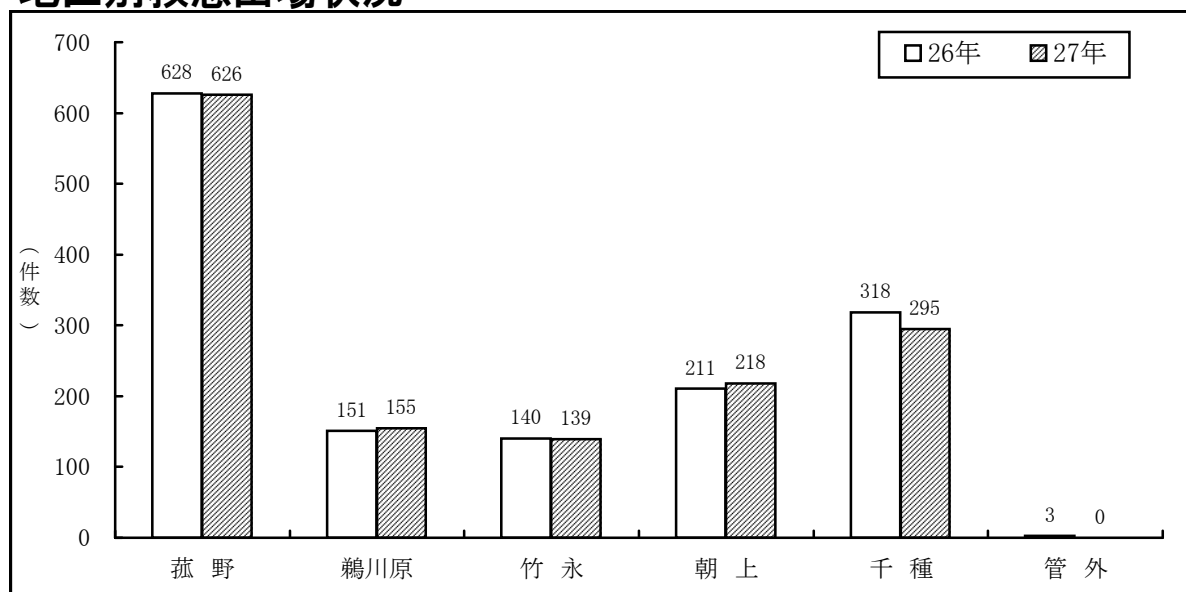
傷病程度別救急搬送人員



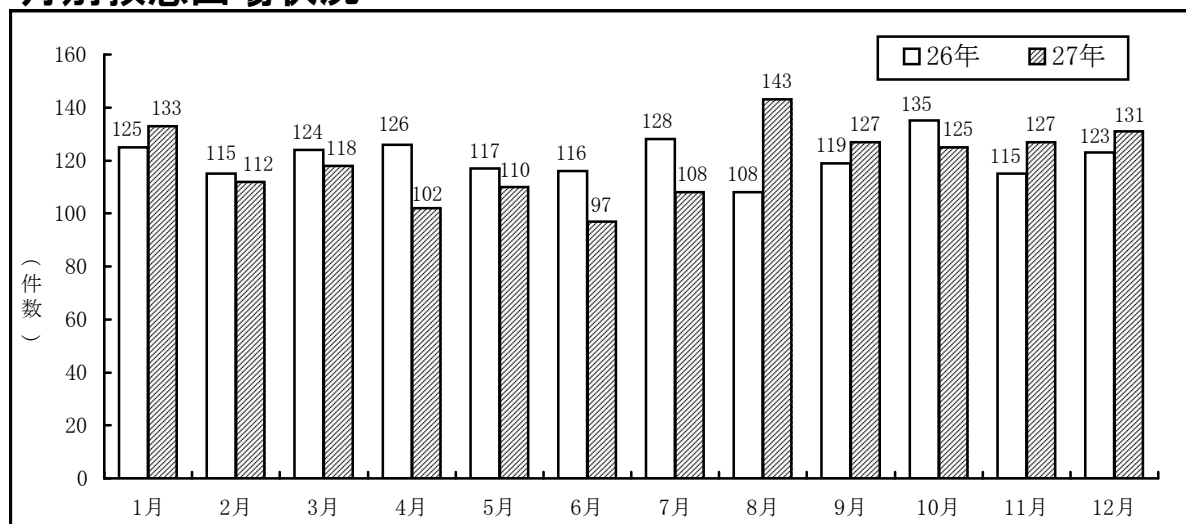
時間別救急出場件数



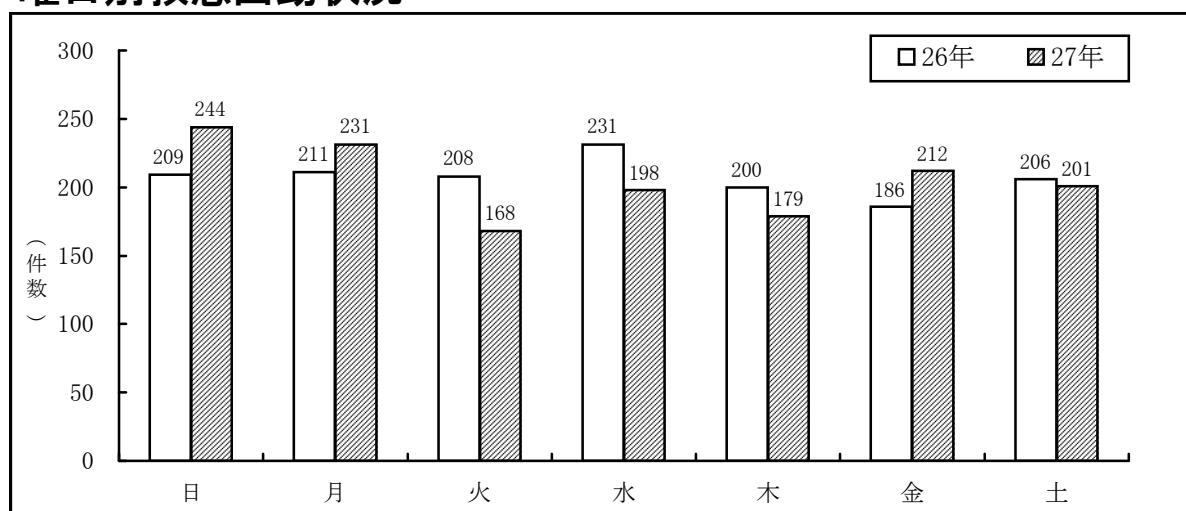
地区別救急出場状況



月別救急出場状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	27 年 合 計	26 年 合 計
死 亡		1		6	37	44	51
重 症			1	22	103	126	136
中 等 症	1	11	15	83	227	337	347
軽 症		66	58	361	384	869	874
そ の 他							
合 計	1	78	74	472	751	1,376	1,408

事故種別・年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	27 年 合 計	26 年 合 計
新 生 児										1		1	
乳 幼 児				8			21			49		78	76
少 年				26		2	11			33	2	74	87
成 人				94	21	6	54	3	7	271	16	472	530
高 齢 者				54	6		148			509	34	751	715
合 計				182	27	8	234	3	7	863	52	1,376	1,408

事故種別・傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	27 年 合 計	26 年 合 計
死 亡					1		2		1	40		44	51
重 症				6	2		36			63	19	126	136
中 等 症				17	6		37	1	2	250	24	337	347
軽 症				159	18	8	159	2	4	510	9	869	874
そ の 他													
合 計				182	27	8	234	3	7	863	52	1,376	1,408

事故種別・時間別救急出場件数

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	27年 合計	26年 合計
休 日					32	5	6	56	2	4	208	7	320	280
休日以外の日					144	22	2	185	3	10	702	45	1,113	1,171
時 間 内 訳	0～2				4			13		1	51		69	59
	2～4				4			5		1	30	1	41	55
	4～6				5			5	1		56		67	55
	6～8				30			14		1	68	1	114	105
	8～10				15	6		23		2	95	3	144	192
	10～12				25	5	4	33	1	2	88	12	170	157
	12～14				15	7	4	26			101	12	165	147
	14～16				21	4		30		1	64	7	127	141
	16～18				24	4		29	1	1	78	10	147	142
	18～20				17	1		24	1	4	79	4	130	134
	20～22				10			26		1	113		150	155
	22～24				6			13	1		87	2	109	109
27年計					176	27	8	241	5	14	910	52	1,433	
26年計		4			212	20	13	214	6	12	915	55		1,451

事故種別・応急処置件数

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	14	23	49	6	92
固 定	11	154	99	15	279
人工呼吸	2			1	3
心肺蘇生	34		2	2	38
酸素吸入	236	37	21	22	316
気道確保	43		5	1	49
気道確保(特定行為)	7				7
保 温	341	70	73	31	515
被 覆	13	19	43	8	83
除 細 動	4				4
静脈路確保	23	1		2	26
薬剤投与	5			1	6
ブドウ糖投与	2				2
そ の 他	3,554	688	808	376	5,426
合 計	4,289	992	1,100	465	6,846

※人工呼吸は、単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等

事故種別・医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別 開設別		急 病		交 通		一般負傷		そ の 他		27年合計		26年合計	
				管 外		管 外		管 外		管 外		管 外		管 外
救急告示医療機関	国 立		1	1							1	1	3	3
	公 立		399	399	84	84	116	116	59	59	658	658	600	600
	公 的		429	97	98	29	116	43	38	14	681	183	742	149
	私 的	病 院	7	1			1				8	1	43	32
		診 療 所												
	計		836	498	182	113	233	159	97	73	1,348	843	1,388	784
その他の医療機関	国 立													
	公 立		1	1							1	1		
	公 的		1	1							1	1	1	1
	私 的	病 院	15	15							15	15	6	5
		診 療 所	10	7			1				11	7	13	8
	計		27	24			1				28	24	20	14
計	国 立		1	1							1	1	3	3
	公 立		400	400	84	84	116	116	59	59	659	659	600	600
	公 的		430	98	98	29	116	43	38	14	682	184	743	150
	私 的	病 院	22	16			1				23	16	49	37
		診 療 所	10	7			1				11	7	13	8
	計		863	522	182	113	234	159	97	73	1,376	867	1,408	798
その他の場所	接骨院等													
	そ の 他													
	計													
27 年 計			863	522	182	113	234	159	97	73	1,376	867		
26 年 計			869	484	230	116	206	122	103	76			1,408	798

救助出場状況

平成27年中は、32件の救助出場があり、救助人員は20名でした。当町の約3分の1が山岳地帯であるため山岳救助事案が多く、全体の約55%を占めています。

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所	※覚 知 別	
1	その他 (山岳)	1月 25日 14時 35分	菰 野 (湯の山地内)	加 入 電 話	
2	その他 (山岳)	2月 1日 10時 35分	菰 野 (湯の山地内)	加 入 電 話	
3	交 通	2月 13日 16時 03分	千 種 (千草地内)	加 入 電 話	
4	交 通	3月 16日 11時 33分	菰 野 (菰野第三区地内)	加 入 電 話	
5	その他 (山岳)	3月 19日 12時 43分	管 外 (滋賀県)	加 入 電 話	
6	交 通	4月 23日 9時 30分	朝 上 (榊地内)	報 知 電 話	
7	機 械	4月 24日 16時 18分	竹 永 (竹成地内)	報 知 電 話	
8	その他 (山岳)	4月 28日 11時 36分	菰 野 (湯の山地内)	報 知 電 話	
9	その他 (山岳)	5月 26日 14時 34分	菰 野 (湯の山地内)	報 知 電 話	
10	その他 (山岳)	6月 13日 11時 33分	菰 野 (湯の山地内)	報 知 電 話	
11	その他 (山岳)	6月 14日 12時 23分	朝 上 (杉谷地内)	報 知 電 話	
12	その他 (山岳)	6月 20日 14時 07分	朝 上 (杉谷地内)	報 知 電 話	
13	交 通	7月 1日 18時 18分	朝 上 (小島地内)	報 知 電 話	
14	その他	7月 2日 10時 08分	菰 野 (湯の山地内)	報 知 電 話	
15	その他	7月 23日 12時 22分	菰 野 (菰野第二区地内)	報 知 電 話	
16	その他 (山岳)	8月 15日 4時 41分	菰 野 (湯の山地内)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)
加 入 電 話 = 一般加入電話

	出 場 車 両	人員	事 故 概 要 等	救 助 概 要 等
	広報車 救急1号車	4 3	藤内壁付近で、アイスクライミング中に滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	藤内壁付近で登山中に滑落した	要救助者をバスケット担架に収容し、裏道登山口まで搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の2名が自力脱出困難となった	横転車両の固定をした後、車外へ救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	交差点内での自動車同士の追突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	横転車両の固定をした後、自力脱出していた要救助者の介添えを行った。
	広報車	4	滋賀県内水晶谷雨乞・根の平峠分岐付近で滑落した	要救助者は死亡状態であり、ピックアップ可能場所まで搬送し、滋賀県警のヘリコプターが搬送した
	救助工作車 救急2号車	4 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の2名が自力脱出困難となった	要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	救助工作車 救急2号車	4 3	水路に転落したトラクターに挟まれた	トラクターのハンドルを切断した後、クレーンでトラクターを吊り上げ救出した
	広報車 救急1号車	4 3	大黒岩付近を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	裏道を下山中に滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	大黒岩付近を登山中に身動きが取れなくなった	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	岩が峰付近を登山中に熱中症のような症状になり、身動きが取れなくなった	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	岩が峰付近を登山中に滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車で走行中に川へ転落し、中州に取り残された	救命胴衣を着用した後、ロープ及び梯子を使用し救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	地面が陥没してできた穴に転落した	クレーンを使用して懸垂ロープを設定し、進入及び救出した
	救助工作車	4	インロックした車内に幼児が閉じ込められた	スペアキーを使用して開錠し、救出した
	広報車	4	登山道上で腹痛により、身動きが取れなくなった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した

救助出場状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所	※覚 知 別	
17	水 難	8月 16日 15時 03分	菰 野（神明地内）	報 知 電 話	
18	交 通	8月 27日 11時 00分	朝 上（小島地内）	報 知 電 話	
19	交 通	8月 29日 17時 37分	鶴川原（吉沢地内）	報 知 電 話	
20	その他 （山岳）	9月 27日 11時 58分	菰 野（湯の山地内）	報 知 電 話	
21	その他 （山岳）	10月 5日 15時 27分	菰 野（湯の山地内）	報 知 電 話	
22	交 通	10月 15日 20時 49分	竹 永（永井地内）	報 知 電 話	
23	その他 （山岳）	10月 24日 17時 39分	菰 野（湯の山地内）	報 知 電 話	
24	その他 （山岳）	10月 25日 15時 04分	菰 野（湯の山地内）	報 知 電 話	
25	その他 （山岳）	11月 1日 9時 39分	菰 野（湯の山地内）	報 知 電 話	
26	その他 （山岳）	11月 1日 12時 08分	菰 野（湯の山地内）	報 知 電 話	
27	その他 （山岳）	11月 4日 12時 13分	管 外（滋賀県）	報 知 電 話	
28	その他 （山岳）	11月 5日 14時 38分	菰 野（湯の山地内）	加 入 電 話	
29	その他 （山岳）	11月 15日 10時 17分	菰 野（湯の山地内）	報 知 電 話	
30	交 通	11月 23日 2時 25分	千 種（江野地内）	報 知 電 話	
31	交 通	12月 14日 9時 44分	千 種（江野地内）	報 知 電 話	
32	その他	12月 16日 7時 41分	鶴川原（川北地内）	加 入 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番（携帯電話等含む）
 加 入 電 話 = 一般加入電話

	出 場 車 両	人員	事 故 概 要 等	救 助 概 要 等
	救助工作車 救急1号車	4 3	川へ飛び込んだ際に負傷し、身動きが取れなくなった	要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	単独事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	出場途上に救助必要なしの情報を受けて、途中帰署した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車3台の衝突事故で、1名が自力脱出困難となった	要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外へ救出した
	広報車	4	岩峰付近を登山中に一時的な意識消失があり、身動きが取れなくなった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	鎌ヶ岳から下山中に滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	介添えにて、車外へ救出した
	広報車 救急1号車 救急2号車 積載車	4 3 3 1	鎌ヶ岳から下山中に2名が滑落した	1名は背負い搬送、1名は介添えにて救出し、救急車で三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	裏道から下山中に足を負傷し、動けなくなった	背負い搬送で救出した
	広報車	4	中道を登山中に急に下腹部痛を発症し、動けなくなった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	鎌ヶ岳を登山中にガレ場で、身動きが取れなくなった	自力で登山道上まで戻っており、救助隊と合流して一緒に下山した
	広報車 救急1号車	4 3	鎌ヶ岳から下山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	鎌ヶ岳から下山中に転倒し、身動きが取れなくなった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車 指揮車	4 3	前尾根ヤグラ付近でロッククライミング中に滑落した	背負い搬送及び介添えにて救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車の単独事故で、1名が自力脱出困難となった	ドアを破壊した後、要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	5 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の2名が自力脱出困難となった	要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	海蔵川でうつ伏せで浮いている人を発見した	ストレッチャーへ収容し、クレーンを使用して堤防の上まで引揚げた

事故種別出場件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	その他 の事故	27 年 合 計	26 年 合 計
	建 物	他										
出場件数			9	1		1				21	32	19
救助人員			7	1		1				11	20	11

事故種別・救助出場人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	その他 の事故	27 年 合 計	26 年 合 計
	建 物	他										
救助隊員			37	4		4				88	133	75
消防隊員												
救急隊員			27	3		3				21	54	25
合 計			64	7		7				109	187	100

事故種別・救助出場車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	その他 の事故	27 年 合 計	26 年 合 計
	建 物	他										
救助工作車			9	1		1				3	14	7
タンク車												
ポンプ車												1
救急車			9	1		1				7	18	8
指揮車										1	1	
広報車										18	18	9
積載車										1	1	
その他の車両												2
合 計			18	2		2				30	52	27

※その他の車両とは、小型動力ポンプ付積載車と防災広報車

気象



大雨による水害に備えるため、河川の越水危険が迫った場合を想定し、地域住民が主体となって積み土のう訓練を行いました。

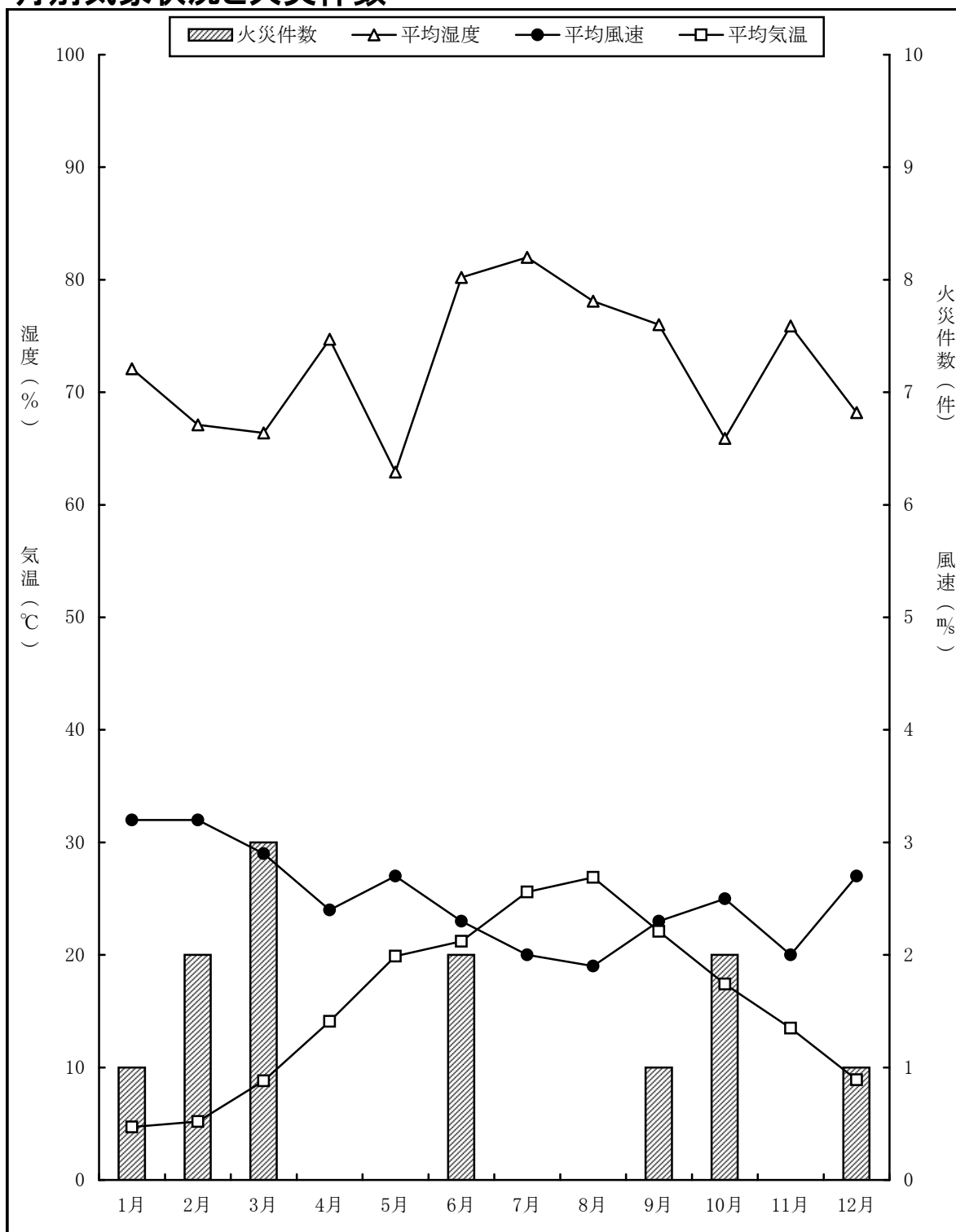
菰野町水防訓練

平成27年5月31日
於：三滝川河川敷

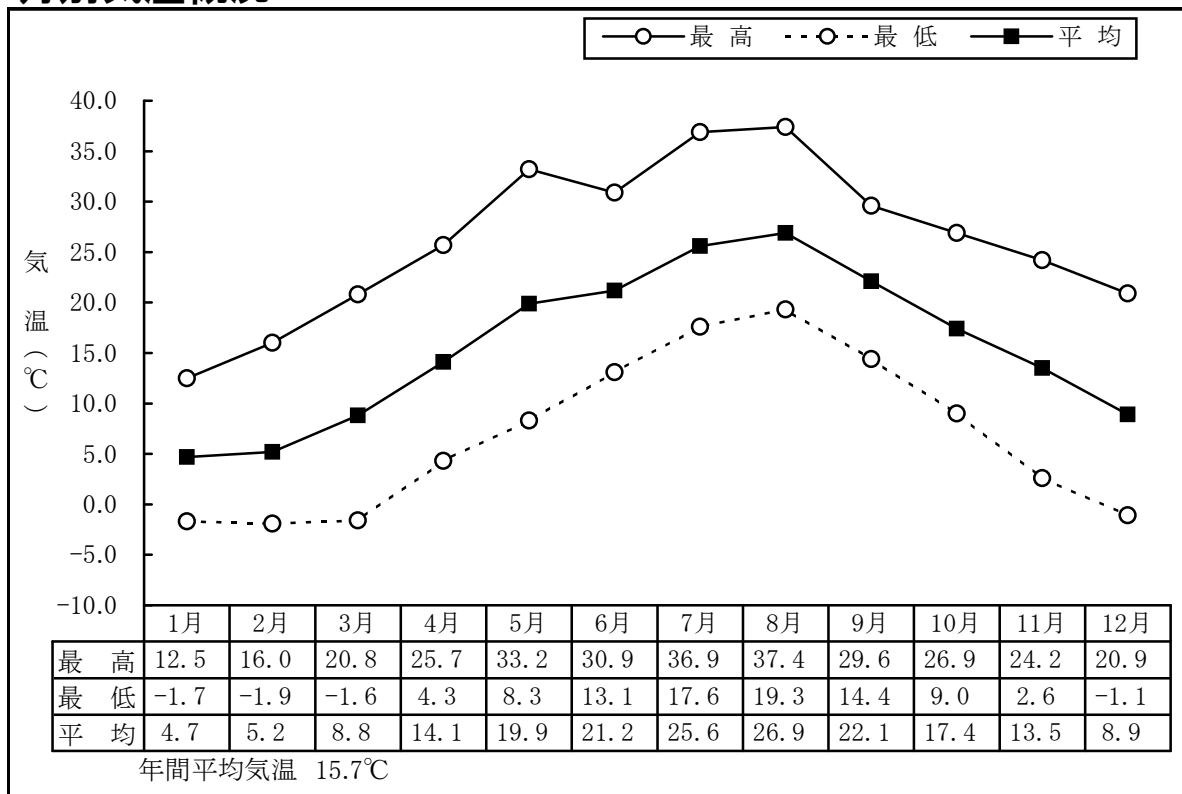
気 象

開署以来、気象情報観察装置による1時間毎の自動定時観測（風速・気温・湿度・降水量等）を行い日報・月報記録の作成を続けています。また台風、豪雨や警報発令時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

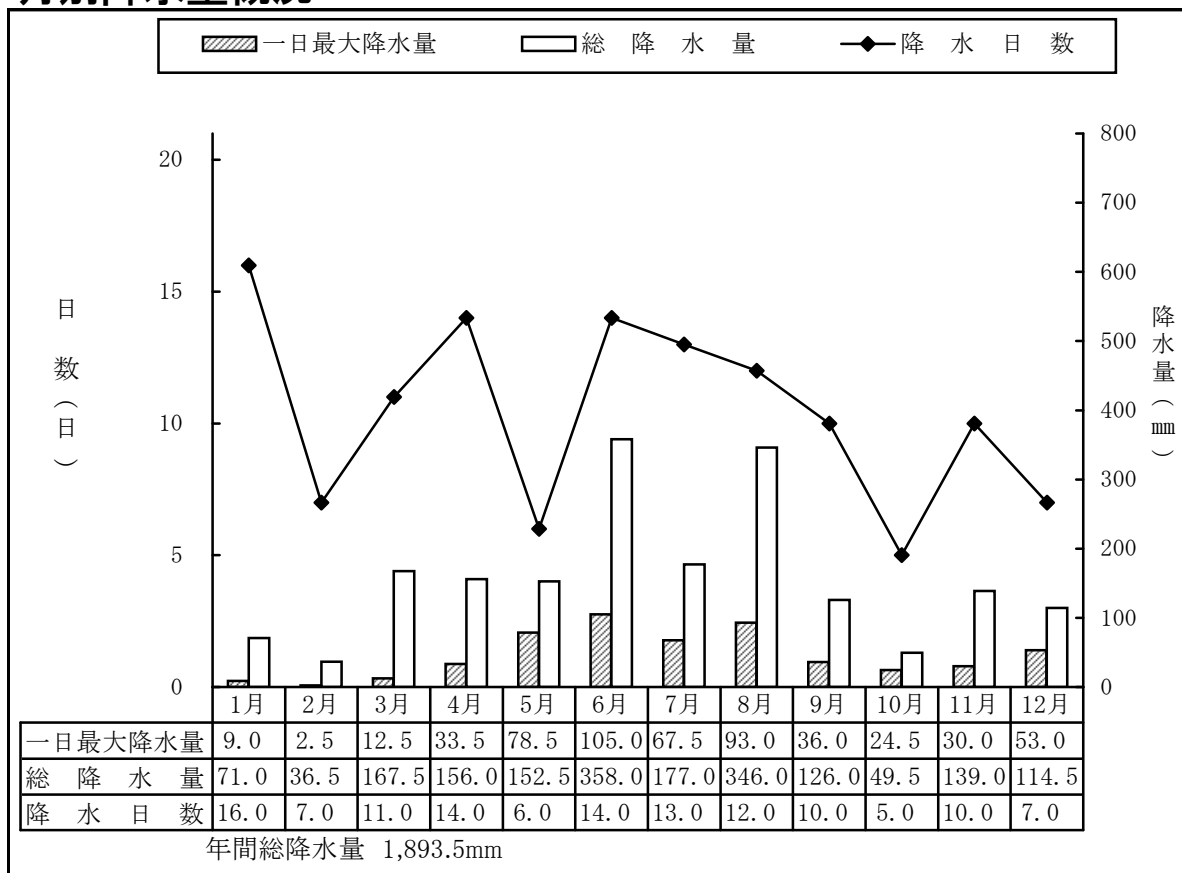
月別気象状況と火災件数



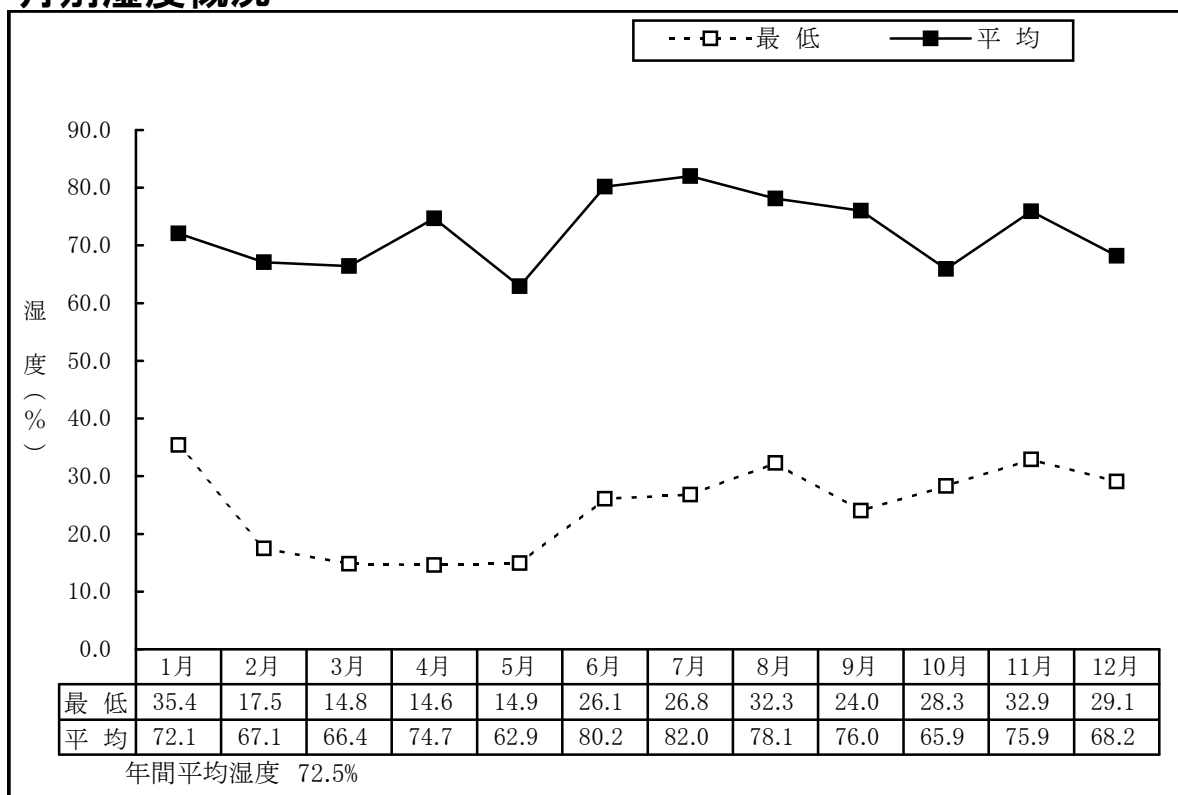
月別気温概況



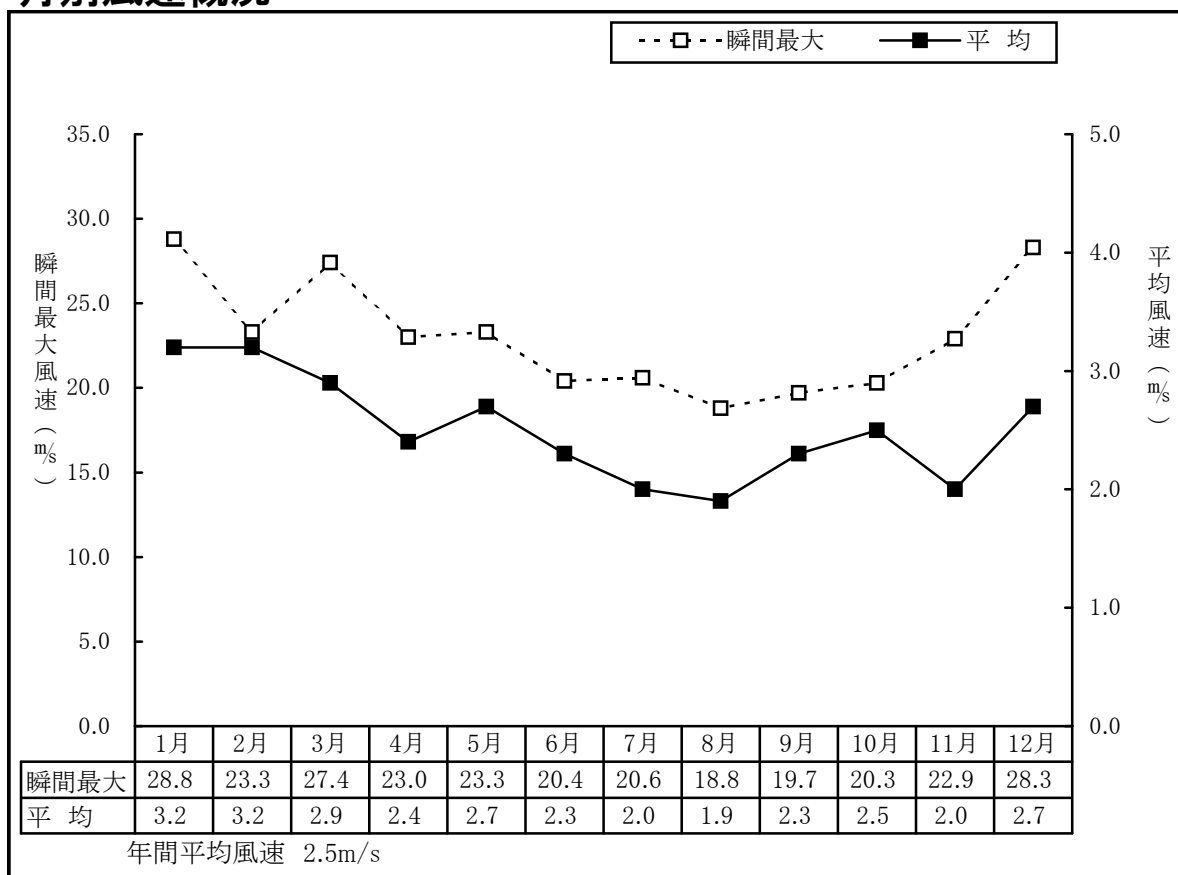
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

月 別			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
気象通報																
特別 警報	気象 特別 警報	暴 風														
		暴 風 雪														
		大 雨														
		大 雪														
警 報	気 象 警 報	暴 風									1				1	
		暴 風 雪														
		大 雨							2	3	1					6
		大 雪														
注 意 報	気 象 注 意 報	大 雨						3	5	12	5				1	26
		大 雪	2	4	1											7
		風 雪	1													1
		雷	2		2	6	5	9	16	18	7	2	4	1		72
		強 風	1		1		1		1	1	2		1	1		9
		融 雪														
		濃 霧		2	2	5	1		2		1		2			15
		乾 燥		1	3	1	4						1		1	11
		な だ														
		低 温	1													1
		霜			8	2										10
		着 氷														
着 雪																
洪 水							1	2	7	2					12	
高 温 注 意 情 報									11	13						
竜 巻 注 意 情 報			1							3	2	1		1	8	
火 災 気 象 通 報			2	1	8	1	7					1		4	24	
気 象 情 報	大 雪 注 意 報	大 雪 に 関 す る 情 報	2													2
		大 雪 と 強 風 に 関 す る 情 報	1													1
		雷 と 突 風 及 び 降 ひ ょ う に 関 す る 情 報				1	1									2
		大 雨 に 関 す る 情 報									3	2				5
		大 雨 と 雷 及 び 突 風 に 関 す る 情 報									9	4			1	14
		雷 と 突 風 に 関 す る 情 報											2	4		6
		大 雨 と 高 波 及 び 雷 に 関 す る 情 報													2	2
		台 風 第 6 号 に 関 す る 情 報					5									5
		台 風 第 11 号 に 関 す る 情 報								10						10
		台 風 第 15 号 に 関 す る 情 報									7					7
		台 風 第 18 号 に 関 す る 情 報										8				8
		長 期 間 の 高 温 に 関 す る 情 報										1				
土砂災害警戒情報（菰野町）																

- 注1) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。
 注2) 注意情報及び、気象情報については三重県を対象に発表された回数を示す。
 注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。
 注4) 特別警報・警報・注意報・土砂災害警戒情報は、菰野町を対象に発表された回数を示す。

平成28年版
消 防 年 報

発 行 日 平成28年 7月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電 話 (059) 394-3211

F A X (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp